



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

2025.4
|
2026.3

ワクワクをカタチに！

能力開発 セミナーガイド

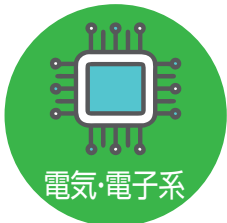
私たちはモノづくり企業を応援します。

能力開発セミナーは、「高度なものづくりを支える人材」の育成を支援します。



機械系

- 機械設計／機械製図
- 試作／解析／評価
- 機械・精密測定／機械検査
- 汎用機械加工
- NC機械加工
- 機械保全



電気・電子系

- アナログ回路設計、基板設計
- シーケンス（PLC）制御設計、生産システム保全、マイコン制御設計、メカトロニクス設計
- デジタル回路設計、組込みシステム開発・設計
- 通信システム設計、通信設備工事／情報配線施工
- 電力設備保全／電力変換設備保全



建築系

- 建築材料、試作／解析／評価
- 建築企画／開発／デザイン、建築計画／見積／積算、建築設計／建築製図
- 建築情報支援、木材加工、施工計画／施工管理、環境測定・検査



管理系

- 生産計画／生産管理、工程管理／技術管理、品質管理
- 教育訓練計画／教育訓練実施、指導技法、安全管理

千葉職業能力開発短期大学校
(ポリテクカレッジ千葉)

■ 千葉キャンパス
■ 成田キャンパス

こんな“お悩み”抱えていませんか？

普通高校
出身者を
じっくり
育てたい

新入社員に
基礎を
学んで
ほしい

現場を
引っ張る
リーダーが
足りない

「事業主推薦制度」で
千葉職業能力開発短期大学校に
(ポリテクカレッジ千葉)

入校

【事業主推薦制度を利用するメリット】

- 基礎から応用までの体系的な教育訓練により、2年間じっくりと専門知識、技能、技術を習得することができる。
- 専門的なスキルがない人材を採用することができるため、人材確保が容易になる。人材不足の解消。
- 専門知識を持ったカレッジの指導員が指導するので、社内で指導者(専門家)の人材を確保する必要がない。指導者不足の解消。
- 他の学生と一緒に訓練することで、コミュニケーション力やリーダーシップといった、会社でリーダーになるために必要な能力を習得しやすい。
- 仕事に必要な技能、技術を習得することで、会社に戻ってから自信をもって仕事ができるようになる。ミスマッチによる早期退職の防止。
- 地域貢献につながることで、企業のイメージアップになる。

資金面も「助成金」で安心！

社員の職業能力開発に関する計画(事業内職業能力開発計画、年間職業能力開発計画)に基づいて事業内推薦制度を利用して訓練を行った企業については、訓練期間中に支払った賃金の一部を人材開発支援助成金により助成します。

※要件等、詳しくは最寄りの都道府県労働局へ

「人材開発支援助成金」については、こちら



社会に必要なとされるエンジニアを育む

6つの強み

1 少人数制(10名~30名)で学ぶ、実践的な教育プログラム

作業の流れを理解する実習と原理・原則を理解する実験を学ぶことで様々な状況に対応できる知識と能力を身に付けます。

2 充実した就職支援体制で高い就職率と職場定着率

就職率100%、求人倍率11.7倍、職場定着率72.9%。
将来性の高い評価をいただいております。

3 企業で使われている実験・実習設備

実際の企業で使用されている機器で実習を行い、即戦力となりうる人材を育成します。

4 各種資格取得への支援

実際の企業で使用されている設備で専門分野を学ぶことによって、就職後役立つ資格取得を支援します。

5 応用課程(プラス2年)への進学

全国の職業能力開発大学の応用課程へ進学することができます。

6 入校料、授業料などは公立短大と同等

入校料169,200円(専門課程)、授業料(年額)390,000円
入校料・授業料減額・免除制度、奨学金制度(融資)あります。

事業主推薦制度の 対象となる科は、次のとおり

【千葉キャンパス】

電子情報技術科

新たな付加価値と創造を助けるエンジニア



修了後の職業 主な職種

- エレクトロニクスエンジニア
- 組込みエンジニア
- ネットワークエンジニア

主な就職先 (順不同)

- 株式会社安西製作所
- 京設工業株式会社
- 株式会社ソード

定員25名

電気エネルギー制御科

新しいエネルギーを学び、地球との関わりを考えるエンジニア



修了後の職業 主な職種

- 電力設備管理エンジニア
- 産業機械制御エンジニア
- エネルギー有効利用エンジニア

主な就職先 (順不同)

- 株式会社H物流産業システム
- 八洲電機株式会社
- 昭和アステック株式会社

定員20名

住居環境科

デザインと快適で豊かな住環境を支える技術者



修了後の職業 主な職種

- 構造設計
- 建築施工管理
- 意匠設計

主な就職先 (順不同)

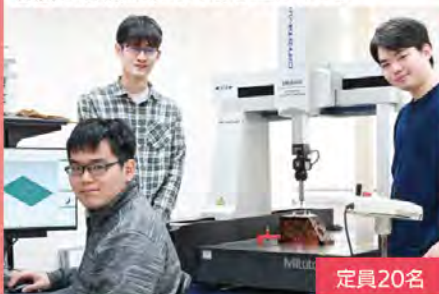
- 平山建設株式会社
- 株式会社向後
構造設計事務所
- 株式会社新昭和

定員20名

【成田キャンパス】

生産技術科

設計から加工までできるエンジニア



修了後の職業 主な職種

- 機械加工・NC 技術者
- CAD 技術者
- 機械メンテナンス

主な就職先 (順不同)

- ANA エンジン
テクニクス株式会社
- ダイキン工業株式会社
- 日産自動車株式会社

定員20名

航空機整備科

世界で活躍する確かなエンジニア



修了後の職業 主な職種

- 運航整備士
- エンジン整備士
- 部品整備

主な就職先 (順不同)

- 株式会社JALエンジニアリング
- ANAベースメンテナンス
テクニクス株式会社
- ANA ラインメンテナンス
テクニクス株式会社

定員30名

能力開発セミナーガイド 目次

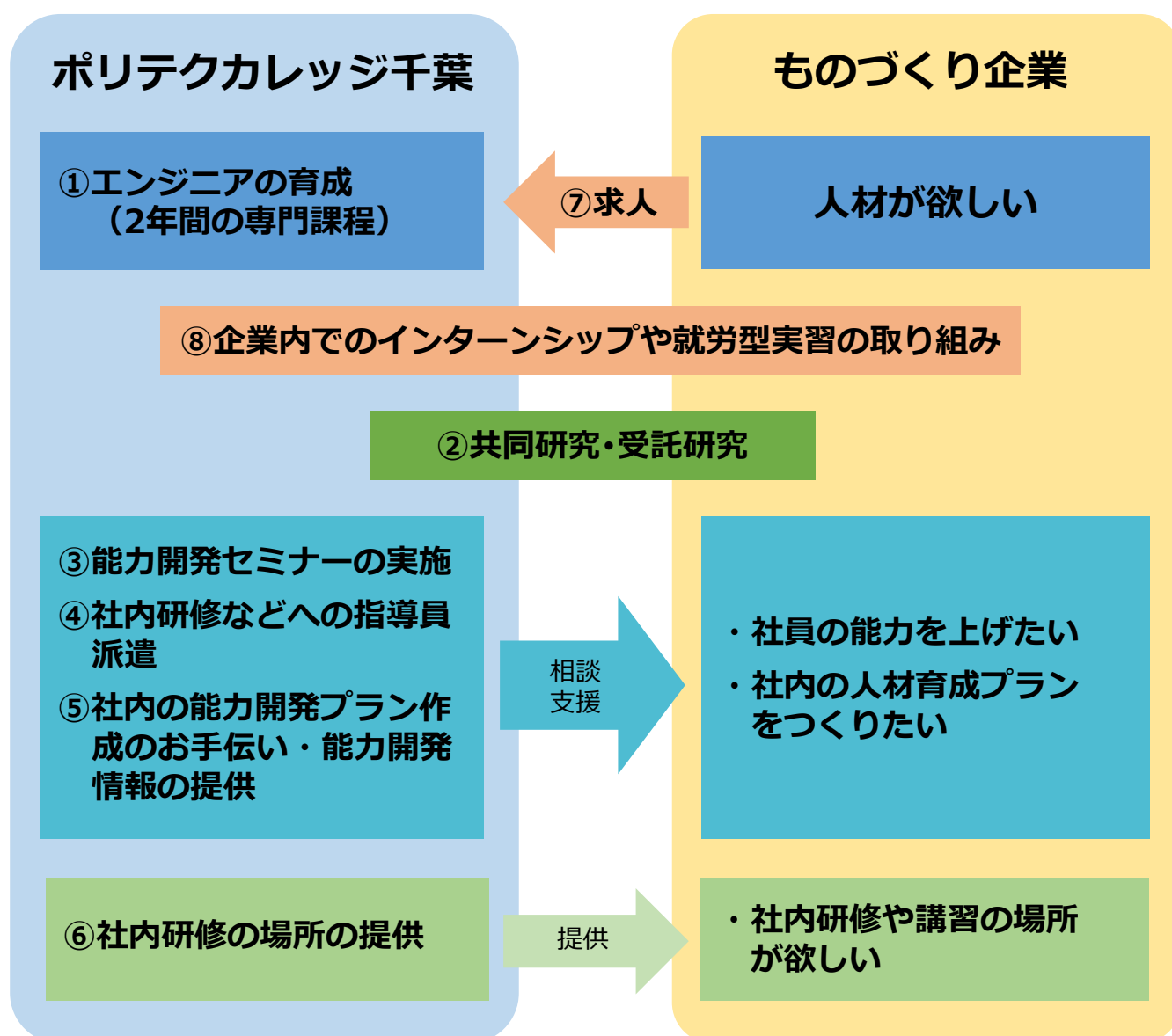
■ 能力開発セミナーのご案内			
	ポリテクカレッジ千葉について	2	
	皆様へのサービスメニュー	3	
	能力開発セミナーガイドの見方・内容	4	
	能力開発セミナーコース年間スケジュール	5 ~ 10	
	能力開発セミナー受講推奨フロー	11 ~ 13	
■ 能力開発セミナーコース 概要			
	機械系	機械設計/機械製図	14 ~ 19
		試作/解析/評価	19
		機械・精密測定/機械検査	20
		汎用機械加工	21 ~ 22
		NC機械加工	23
		機械保全	24
		金属熱処理/金属表面処理	24
	電気・電子系	アナログ回路設計	25 ~ 26
		シーケンス(PLC)制御設計、生産システム保全、メカトロニクス設計	26 ~ 27
		デジタル回路設計、組込みシステム開発・設計、マイコン制御設計	28 ~ 30
		通信設備工事/情報配線施工	30 ~ 31
		電力設備保全/電力変換設備保全	31
	建築系	建築企画/開発/デザイン、建築計画/見積/積算、建築設計/建築製図	32 ~ 33
		建築情報支援、施工計画/施工管理	33 ~ 34
		建築検査/耐震診断	34
	管理系	生産計画/生産管理、工程管理/技術管理、品質管理	35 ~ 38
		教育訓練計画/教育訓練実施、指導技法、安全管理	38 ~ 41
■ 受講申込みのご案内			
	能力開発セミナー受講申込みのご案内	42 ~ 44	
	能力開発セミナー受講申込書、記入例	45 ~ 46	
	能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表、記入例	47 ~ 48	
	よくあるご質問 Q&A	49	
	利用者の声	50 ~ 51	
■ 各種ご案内			
	関東地域の施設所在地一覧	52	
	能力開発セミナー詳細情報の検索方法	53	
	高度ポリテクセンター	54	
	共同研究・受託研究のご案内	55	
	施設使用料金一覧表(千葉キャンパス)	56	
	施設設備使用申請書	57	
	生産性向上支援訓練のご案内	58	
	生産力UP!のために人材を育成しませんか!	59 ~ 60	
	生産性向上支援訓練コース一覧	61 ~ 62	
	各種助成金制度	63	
	採用ご担当者の皆様へ	64	
	求人票	65	
■ ポリテクカレッジアクセスマップ		裏表紙	

ポリテクカレッジ千葉について

ポリテクカレッジ千葉は、国の職業能力開発政策に基づいて、エンジニアを育成する2年間の専門課程、そしてものづくり企業に働く方々を対象とした能力開発セミナーを実施しています。

私たちはものづくり企業を応援します

※以下の内容の説明は、次ページにあります。



当校のホームページは

ポリテクカレッジ千葉

検索

皆様へのサービスメニュー

※以下の番号は、前ページの項目です。

①エンジニアの育成

千葉市と成田市の2つのキャンパスに6科を設置し、徹底した少人数教育のもとに基礎理論を学び、その理論を実習で体験して身につける教育を行っています。これに技能と応用力を併せ持つエンジニアを育成しています。

②共同研究や受託研究

新製品の開発、新技術の導入、業務の効率化などの技術的課題について、当校がもつノウハウや設備・機器等を活用して、企業の研究・開発の支援を行っています。

③能力開発セミナー

企業で働く方やご自身でスキルアップを図る方を対象として、短期間（2～3日間）のものづくり分野のセミナーを実施しています（P14～P41を参照）。
また皆様の要望に沿ったオーダーメイドのセミナーも実施しています（P44を参照）。

④社内研修の指導員を派遣

社内研修や講習を実施する際の指導員を派遣しています。

⑤企業の能力開発プランづくりや他のセミナー・講習の情報提供

社員の専門能力の向上を目指す企業や業種団体（協同組合、社団法人、協会など）を対象として、職業能力開発のプランづくりの相談・支援を行っています。また千葉県が実施している講習等の情報を提供しています。

⑥社内研修の場所の提供

社内研修を実施する場所として、教室、実習場や設備・機器を貸し出しています。

※千葉キャンパスの施設設備の使用は、P56をご覧ください。

※成田キャンパスの施設設備の使用は、下記の成田キャンパスへお問合せください。

⑦求人のご案内

皆様の求人をお待ちしています。

⑧企業内でのインターンシップ・就労型実習の取り組み

インターンシップや就労型実習を受入れいただく企業を募集しています。

※企業内実習のメリット

採用時の学生と企業とのミスマッチをなくし、よりよい人材を採用できます。

お問合せは

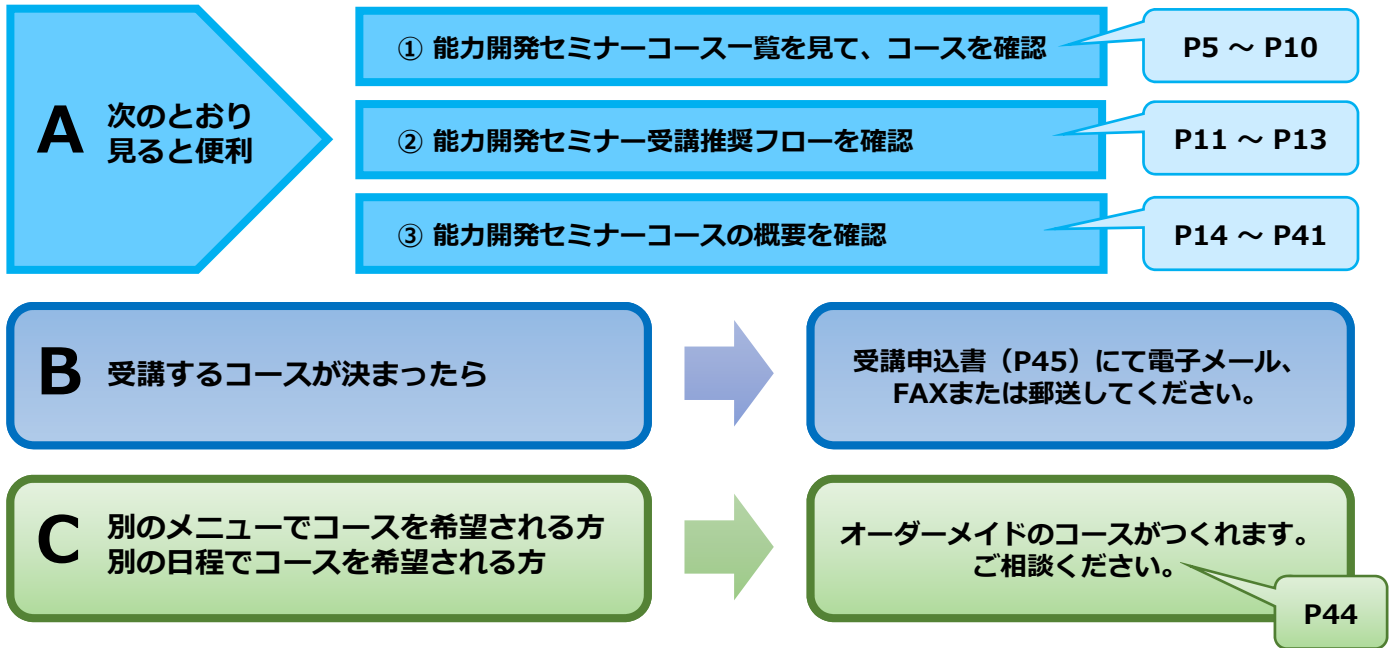
学務援助課まで

千葉キャンパス … ①,⑦,⑧ TEL 043-242-4193

②～⑥ TEL 043-242-4192

成田キャンパス … ①～⑧ TEL 0476-22-4351

能力開発セミナーガイドの見方・内容



能力開発セミナーコースの概要は、以下の構成になっています。

分野名				
「コース名」				
コース番号	日程	場所	定員	受講料
コース番号	〇〇月〇〇日(〇)、〇〇日(〇)	千葉キャンパス	各回の	1名様当りの 受講料
	〇〇月〇〇日(〇)、〇〇日(〇)	成田キャンパス	定員数	
日数	実施日数(延べ訓練時間)			
時間	開始時間～終了時間(1日の訓練時間を〇時間/日と記載)			
使用機器	使用する主な機材等を記載			
持参品他	持参するものを記載			
<p>講習内容 講習内容についての概要を記載します。</p> <p>主な内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 講習内容を項目で記載します。 ■ // 				

申込書を送る前に、次の点をご確認ください。

- 日程 : 実施期間は、コースにより異なります。
→ ①2日間 ②3日間 ③4日間
- 講習時間 : セミナーの開始・終了時刻は、コースにより異なることがあります。
→ 基本時間 9:30~16:20 (6時間/日)
- 受講料 : 1コース1名様の料金となっています。
→ 複数コース又は複数名を一度にお申し込みいただく場合はご注意ください。
- 会場 : 「千葉キャンパス」と「成田キャンパス」の二つの会場があります。

能力開発セミナーコース 年間スケジュール

● 機械系

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	開催場所	定員	日数	受講料(税込)
機械設計/機械製図	C01	実践機械製図	P 14	千葉 キャンパス	15名	2日	7,000円
	N01	実践機械製図	P 14	成田 キャンパス	15名	3日	10,000円
	C02	 実践機械製図(寸法・公差編)	P 15	千葉 キャンパス	15名	2日	7,000円
	C03	2次元CADによる機械製図技術	P 16	千葉 キャンパス	15名	2日	8,500円
	N02	2次元CADによる機械製図技術	P 16	成田 キャンパス	15名	2日	8,000円
	C04	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	P 17	千葉 キャンパス	15名	2日	8,000円
	N03	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	P 17	成田 キャンパス	15名	3日	19,000円
	C05	3次元CADを活用したアセンブリ技術	P 18	千葉 キャンパス	15名	2日	8,000円
	N04	3次元CADを活用したアセンブリ技術	P 18	成田 キャンパス	15名	2日	16,000円
	N05	設計者のための機械加工技術	P 19	成田 キャンパス	10名	2日	12,000円
試作/解析/評価	N06	設計者CAEを活用した構造解析	P 19	成田 キャンパス	15名	3日	22,000円
機械・精密測定/ 機械検査	C06	精密測定技術	P 20	千葉 キャンパス	12名	2日	9,500円
	N07	精密測定技術	P 20	成田 キャンパス	6名	2日	12,000円
汎用機械加工	N08	 旋削加工の理論と実際	P 21	成田 キャンパス	10名	2日	9,000円
	N09	旋盤加工技術	P 21	成田 キャンパス	6名	3日	17,500円
	N10	フライス盤加工技術	P 22	成田 キャンパス	6名	3日	17,500円
	N11	旋盤加工応用技術(高精度加工編)	P 22	成田 キャンパス	6名	3日	20,500円
NC機械加工	N12	NC旋盤加工技術	P 23	成田 キャンパス	10名	3日	12,000円
	N13	マシニングセンタ加工技術	P 23	成田 キャンパス	10名	3日	14,500円
機械保全	N14	生産現場の機械保全技術	P 24	成田 キャンパス	10名	2日	8,500円
金属熱処理/ 金属表面処理	N15	 鉄鋼材料の熱処理技術	P 24	成田 キャンパス	10名	2日	8,500円

2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月
	15(木) 16(金)										
21(月) 22(火) 23(水)											
	22(木) 23(金)										
			3(木) 4(金)								
	27(火) 28(水)										
			17(木) 18(金)								
		9(月) 10(火) 11(水)									
				21(木) 22(金)							
		30(月)	1(火)								
					30(火)	1(水)					
				4(月) 5(火) 6(水)							
17(木) 18(金)											
				5(火) 6(水)							
						28(火) 29(水)					
	12(月) 13(火) 14(水)										
		9(月) 10(火) 11(水)									
		16(月) 17(火) 18(水)									
		23(月) 24(火) 25(水)									
			7(月) 8(火) 9(水)								
							18(火) 19(水)				
								16(火) 17(水)			

能力開発セミナーコース 年間スケジュール

● 電気・電子系

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	開催場所	定員	日数	受講料(税込)
アナログ回路設計	C07	 オペアンプ回路の設計・評価技術	P 25	千葉 キャンパス	10名	2日	10,000円
	C08	シミュレータを活用したオペアンプ回路設計技術 (LTspiceによるオペアンプ回路シミュレーション技法)	P 25	千葉 キャンパス	10名	2日	12,500円
	C09	アナログフィルタ回路設計・評価技術	P 26	千葉 キャンパス	10名	2日	8,500円
シーケンス (PLC)制御設計 生産システム保全 メカトロニクス設計	C10	有接点シーケンス制御の実践技術	P 26	千葉 キャンパス	10名	2日	9,500円
	C11	実践的PLC制御技術	P 27	千葉 キャンパス	10名	2日	9,000円
	C12	産業用ロボット活用技術	P 27	千葉 キャンパス	6名	2日	13,000円
デジタル回路設計 組み込みシステム 開発・設計 マイコン制御設計	C13	デジタル回路設計技術(FPGAを用いたデジタル回路設計技術)	P 28	千葉 キャンパス	10名	2日	10,000円
	C14	 HDLによるLSI開発技術 (Verilog-HDLを用いたデジタル回路設計技術)	P 28	千葉 キャンパス	10名	2日	10,000円
	① C15-1 ② C15-2	組み込みシステムにおけるプログラム開発技術	P 29	千葉 キャンパス	10名	2日	8,000円
	① C16-1 ② C16-2	センサを活用したIoTアプリケーション開発技術	P 29	千葉 キャンパス	10名	2日	12,000円
	① C17-1 ② C17-2	マイコン制御システム開発技術(Raspberry Pi編)	P 30	千葉 キャンパス	10名	2日	11,000円
通信設備工事/ 情報配線施工	C18	光伝送路構築技術(光ファイバ施工に係る知識・技術の習得)	P 30	千葉 キャンパス	10名	2日	20,000円
	C19	LAN構築施工・評価技術(LAN施工に係る知識・技術の習得)	P 31	千葉 キャンパス	10名	2日	18,000円
電力設備保全/ 電力変換設備保全	① C20-1 ② C20-2	高圧電気設備の保守点検技術	P 31	千葉 キャンパス	10名	2日	12,000円

● 居住系

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	開催場所	定員	日数	受講料(税込)
建築企画/開発/ デザイン	C21	BIMを用いた建築設計技術	P 32	千葉 キャンパス	10名	2日	8,500円
建築計画/ 見積/積算	C22	バリアフリー住宅の設計実践技術	P 32	千葉 キャンパス	10名	2日	13,000円
建築設計/建築製図	C23	実践建築設計2次元CAD技術	P 33	千葉 キャンパス	10名	2日	7,500円
建築情報支援	C24	地理情報システムの運用技術	P 33	千葉 キャンパス	10名	2日	8,500円
施工計画/施工管理	C25	実践的な施工図作成技術	P 34	千葉 キャンパス	10名	2日	9,000円
建築検査/耐震診断	C26	 木造耐力壁の壁倍率評価技術	P 34	千葉 キャンパス	10名	2日	13,000円

2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月
				5(火) 6(水)							
											24(火) 25(水)
								11(木) 12(金)			
	13(火) 14(水)										
					11(木) 12(金)						
								15(木) 16(金)			
											12(木) 13(金)
			30(水) 31(木)								
		① 10(火) 11(水)								② 18(水) 19(木)	
				① 21(木) 22(金)							② 16(月) 17(火)
			① 30(水) 31(木)								② 12(木) 13(金)
					11(木) 12(金)						
				21(木) 22(金)							
	① 15(木) 16(金)						② 2(木) 3(金)				

2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月
				19(火) 20(水)							
				7(木) 8(金)							
	15(木) 16(金)										
				7(木) 8(金)							
				23(土) 30(土)							
			19(土) 26(土)								

能力開発セミナーコース 年間スケジュール

● 管理系

分野	コース番号	コース名	掲載ページ	開催場所	定員	日数	受講料(税込)
生産計画/生産管理 工程管理/技術管理 品質管理	C27	製造業における実践的生産管理	P 35	千葉 キャンパス	12名	2日	9,000円
	C28	生産現場のための実践作業標準 (生産現場改善のための作業標準の習得)	P 35	千葉 キャンパス	10名	2日	10,000円
	C29	実践生産性改善	P 36	千葉 キャンパス	15名	2日	8,000円
	C30	生産現場改善手法(現場力向上)	P 36	千葉 キャンパス	20名	2日	9,000円
	N16	なぜなぜ分析による製造現場の問題解決	P 37	成田 キャンパス	15名	2日	11,000円
	C31	製造業に活かす品質管理技法	P 37	千葉 キャンパス	12名	3日	10,000円
	N17	成功事例から学ぶ品質の維持と向上	P 38	成田 キャンパス	15名	2日	11,000円
教育訓練計画/ 教育訓練実施 指導技法 安全管理	C32	 現場を動かすプレゼンテーションテクニック	P 39	千葉 キャンパス	10名	2日	10,000円
	① C33-1 ② C33-2	5Sによるムダ取り・改善の進め方 (製造現場の5S改善や現場力の強化に役立てる)	P 39	千葉 キャンパス	12名	2日	9,000円
	① C34-1 ② C34-2	仕事と人を動かす現場監督者の育成	P 40	千葉 キャンパス	12名	2日	9,000円
	C35	技能伝承のための部下・後輩指導育成(OJTトレーナー育成)	P 40	千葉 キャンパス	20名	2日	9,000円
	C36	安全確保のための現場改善手法	P 41	千葉 キャンパス	15名	2日	6,000円
	C37	ヒューマンエラー対策実践(ポカミスのない職場作り)	P 41	千葉 キャンパス	20名	2日	9,000円
	N18	 ヒューマンエラー対策実践(ポカミスのない職場作り)	P 42	成田 キャンパス	20名	2日	8,500円

4 2025	5 2025	6 2025
月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
31 1 2 3 4 5 6	28 29 30 1 2 3 4	26 27 28 29 30 31 1
7 8 9 10 11 12 13	5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8
14 15 16 17 18 19 20	12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15
21 22 23 24 25 26 27	19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22
28 29 30 1 2 3 4	26 27 28 29 30 31 1	23 24 25 26 27 28 29
		30 1 2 3 4 5 6
7 2025	8 2025	9 2025
月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
30 1 2 3 4 5 6	28 29 30 31 1 2 3	1 2 3 4 5 6 7
7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10	8 9 10 11 12 13 14
14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20 21
21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24	22 23 24 25 26 27 28
28 29 30 31 1 2 3	25 26 27 28 29 30 31	29 30 1 2 3 4 5

2025年 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2026年 1月	2月	3月
						16(木) 17(金)					
						6(月) 7(火)					
								11(木) 12(金)			
	21(水) 22(木)										
							12(水) 13(木)				
							25(火) 26(水) 27(木)				
								17(水) 18(木)			
			1(火) 2(水)								
				① 7(木) 8(金)	② 18(木) 19(金)						
					① 11(木) 12(金)		② 13(木) 14(金)				
						27(月) 28(火)					
			10(木) 11(金)								
		2(月) 3(火)									
						9(木) 10(金)					

10 ²⁰²⁵	11 ²⁰²⁵	12 ²⁰²⁵
月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
29 30 1 2 3 4 5	27 28 29 30 31 1 2	1 2 3 4 5 6 7
6 7 8 9 10 11 12	3 4 5 6 7 8 9	8 9 10 11 12 13 14
13 14 15 16 17 18 19	10 11 12 13 14 15 16	15 16 17 18 19 20 21
20 21 22 23 24 25 26	17 18 19 20 21 22 23	22 23 24 25 26 27 28
27 28 29 30 31 1 2	24 25 26 27 28 29 30	29 30 31 1 2 3 4

1 ²⁰²⁶	2 ²⁰²⁶	3 ²⁰²⁶
月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日	月 火 水 木 金 土 日
29 30 31 1 2 3 4	26 27 28 29 30 31 1	23 24 25 26 27 28 1
5 6 7 8 9 10 11	2 3 4 5 6 7 8	2 3 4 5 6 7 8
12 13 14 15 16 17 18	9 10 11 12 13 14 15	9 10 11 12 13 14 15
19 20 21 22 23 24 25	16 17 18 19 20 21 22	16 17 18 19 20 21 22
26 27 28 29 30 31 1	23 24 25 26 27 28 1	23 24 25 26 27 28 29
		30 31 1 2 3 4 5

能力開発セミナー受講推奨フロー

推奨フローの見方

- ・推奨フローは、機械系、電気・電子系、建築系の分野別に仕事の要素に応じてまとめています。
- ・専門分野に関する知識や技能を習得したい場合に、どのように学習していけばよいかを表しています。
(ステップ1→ステップ2→ステップ3と内容をレベルアップ)

機 械 系

ステップアップ 1→2→3

分 野	ステップ1		ステップ2		ステップ3
機械設計/機械製図	実践機械製図 (2日間)	C01 14 ページ	実践機械製図 (2日間) (寸法・公差編)	New C02 15 ページ	
	実践機械製図 (3日間)	N01 14 ページ			
	2次元CADによる機械製図技術	C03 16 ページ			
	2次元CADによる機械製図技術	N02 16 ページ			設計に活かす！3次元CAD活用術 (図面活用編)
	3次元CADを活用した ソリッドモデリング技術	C04 17 ページ	3次元CADを活用した アセンブリ技術	C05 18 ページ	設計に活かす！3次元CAD活用術 (PDMを使ったチーム設計と運用管理編)
	設計に活かす3次元CAD ソリッドモデリング技術	N03 17 ページ	3次元CADを活用した アセンブリ技術	N04 18 ページ	設計に活かす！3次元CAD活用術 (トラブルシューティング編)
		設計者のための機械加工技術	N05 19 ページ		
試作/解析/評価	設計者CAEを活用した構造解析	N06 19 ページ	設計者CAEを活用した流体・熱流体解析		設計者CAEを活用した伝熱・熱応力解析 New
			設計者CAEを活用した振動解析		
機械・精密測定/機械検査	精密測定技術	C06 20 ページ	三次元測定機を用いた精密測定技術の実践		三次元測定機による幾何偏差の測定技術
	精密測定技術	N07 20 ページ	表面粗さと形状偏差の精密測定技術		
汎用機械加工	旋削加工の理論と実際	New N08 21 ページ			
	旋盤加工技術	N09 21 ページ	旋盤加工応用技術(高精度加工編)	N11 22 ページ	
	フライス盤加工技術	N10 22 ページ	切削実技で学ぶ直ぐに使える切削技術		切削実技で学ぶステンレス鋼と難加工材の削り方
NC機械加工	NC旋盤加工技術	N12 23 ページ	切りくず処理の問題解決		切削実技で学ぶ生産性倍速化の切削加工
	マシニングセンタ加工技術	N13 23 ページ	5軸制御マシニングセンタによる加工技術		実践CAM技術
			ミーリング加工の問題解決		切削工具の使い方・選び方によるトラブル回避法 (マシニングセンタ編)
			高能率・高精度穴加工技術		金型切削における切削工具の選び方と 工具損傷対策
機械保全	生産現場の機械保全技術	N14 24 ページ			
金属熱処理/金属表面処理	鉄鋼材料の熱処理技術	New N15 24 ページ			



は、千葉職業能力開発短期大学校(千葉キャンパス、成田キャンパス)で実施するコース

は、高度ポリテクセンターで実施するコース

※ 高度ポリテクセンターの連絡先は、13ページ、54ページをご覧ください。

電気・電子系

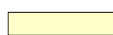
ステップアップ 1→2→3


分野	ステップ1	ステップ2	ステップ3
アナログ回路設計	オペアンプ回路の設計・評価技術  C07 25 ページ		実用オペアンプ応用回路の設計法
	シミュレータを活用した オペアンプ回路設計技術 (LTspiceによるオペアンプ回路シミュレーション技法) C08 25 ページ		製作しながら学ぶ高周波回路設計技術
	アナログフィルタ回路設計・評価技術 C09 26 ページ		
シーケンス(PLC)制御設計 生産システム保全 メカトロニクス設計	有接点シーケンス制御の実践技術 C10 26 ページ	実践的PLC制御技術 C11 27 ページ	
		産業用ロボット活用技術 C12 27 ページ	
デジタル回路設計 組み込みシステム開発・設計 マイコン制御/ パソコン制御設計	デジタル回路設計技術 (FPGAを用いたデジタル回路設計技術) C13 28 ページ		HDLによるLSI開発技術  (Verilog-HDLを用いたデジタル回路設計技術) C14 28 ページ
	組み込みシステムにおける プログラム開発技術 C15-1、C15-2 29 ページ		
	センサを活用した IoTアプリケーション開発技術 C16-1、C16-2 29 ページ	マイコン制御システム開発技術 (Raspberry Pi編) C17-1、C17-2 30 ページ	
通信システム設計 通信設備/情報配線施工	光伝送路構築技術 (光ファイバ施工に係る知識・技術の習得) C18 30 ページ	LAN構築施工・評価技術 (LAN施工に係る知識・技術の習得) C19 31 ページ	
電力設備保全/ 電力変換設備保全	高圧電気設備の保守点検技術 C20 31 ページ		

建築系

ステップアップ 1→2→3

分野	ステップ1	ステップ2	ステップ3
建築企画/開発/デザイン 建築計画/見積/積算 建築設計/建築製図	BIMを用いた建築設計技術 C21 32 ページ		
	バリアフリー住宅の設計実践技術 C22 32 ページ		
	実践建築設計2次元CAD技術 C23 33 ページ		
建築情報支援 施工計画/施工管理	実践的な施工図作成技術 C25 34 ページ		地理情報システムの運用技術 C24 33 ページ
建築検査/耐震診断	木造耐力壁の壁倍率評価技術  C26 34 ページ		

 は、千葉職業能力開発短期大学校(千葉キャンパス、成田キャンパス)で実施するコース

 は、高度ポリテクセンターで実施するコース

※ 高度ポリテクセンターの連絡先は、13ページ、54ページをご覧ください。

管理系

ステップアップ 1→2→3

分野	ステップ1	ステップ2	ステップ3
生産計画/生産管理 工程管理/技術管理 品質管理	製造業における実践的生産管理 C27 35 ページ	現場の課題を把握した生産性向上のための生産管理手法 New	
	生産現場のための実践作業標準 (生産現場改善のための作業標準の習得) C28 35 ページ		
	実践生産性改善 C29 36 ページ		
	生産現場改善手法 (現場力向上) C30 36 ページ		
	なぜなぜ分析による製造現場の問題解決 N16 37 ページ	生産活動における課題解決の進め方	
	製造業に活かす品質管理技法 C31 37 ページ		
	成功事例から学ぶ品質の維持と向上 N17 38 ページ	顧客満足と組織納得の品質管理	
教育訓練計画/ 教育訓練実施 指導技法 安全管理	現場を動かすプレゼンテーションテクニック New C32 38 ページ		
	5Sによるムダ取り・改善の進め方 (製造現場の5S改善や現場力の強化に役立てる) C33-1、C33-2 39 ページ	仕事と人を動かす現場監督者の育成 C34-1、C34-2 39 ページ	生産設備のムダ取り改善とからくり
	技能伝承のための部下・後輩指導育成 (OJTトレーナー育成) C35 40 ページ		
	安全確保のための現場改善手法 C36 40 ページ		
	ヒューマンエラー対策実践 (ボカミスのない職場作り) C37 41 ページ		
	ヒューマンエラー対策実践 New N18 41 ページ		

■ は、千葉職業能力開発短期大学校(千葉キャンパス、成田キャンパス)で実施するコース

■ は、高度ポリテクセンターで実施するコース

※ 高度ポリテクセンターの連絡先は、13ページ、54ページをご覧ください。

ポリテクカレッジ千葉の能力開発セミナーを 貴社の人材育成にご活用ください

受講者満足度

98.8 %

2024年度
(10月末時点)

事業主生産性向上度(速報値)

92.9 %

機械設計/機械製図

実践機械製図

千葉

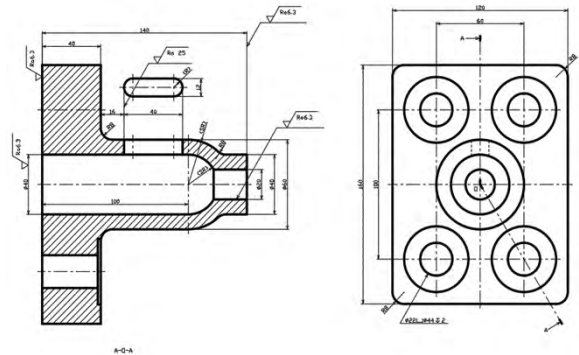
コース番号	日程	場所	定員	受講料
C01	5月15日(木)、16日(金)	千葉キャンパス	15名	7,000円(税込)
日数	2日間(14時間)			
時間	9:00~17:00(7時間/日)			
使用機器				
持参品他	筆記用具			

講習内容

設計及び製造現場で求められる機械製図の部品図に関する、総合的かつ実践的な技術を習得します。

主な内容

- 製図一般
 - ・製図規格の確認
 - ・投影法の確認
- 機械製図の留意点
- 実践的機械図面の描き方
 - ・事例から学ぶ機械製図



機械設計/機械製図

実践機械製図

成田

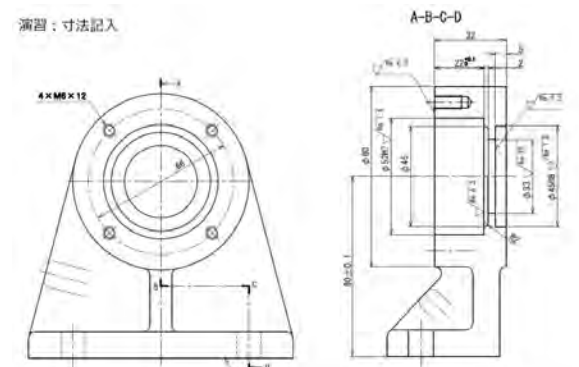
コース番号	日程	場所	定員	受講料
N01	4月21日(月)、22日(火)、23日(水)	成田キャンパス	15名	10,000円(税込)
日数	3日間(18時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	2次元CAD(AutoCAD2023)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

設計及び製造現場で求められる、機械製図の部品図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を実習を通して習得します。

主な内容

- 製図一般
- 機械製図上の注意点
- 実践的機械図面の書き方
- 部品図の課題演習



能力開発セミナーコース 概要

機械設計/機械製図



実践機械製図 (寸法・公差編)

千葉

コース番号	日程	場所	定員	受講料
C02	5月22日(木)、23日(金)	千葉キャンパス	15名	7,000円(税込)
日数	2日間(14時間)			
時間	9:00~17:00(7時間/日)			
使用機器				
持参品他	筆記用具			

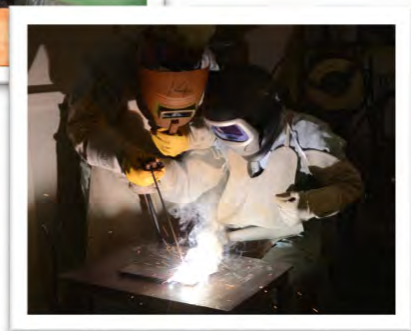
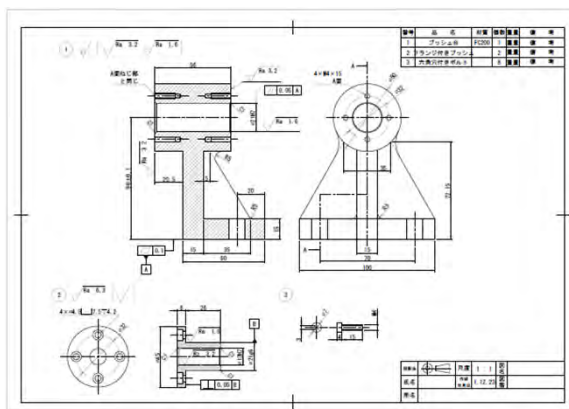
講習内容

設計及び製造現場で求められる機械製図の部品図に関する、総合的かつ実践的な技術を習得します。

主な内容

- 製図一般
 - ・製図規格の確認
 - ・投影法の確認
- 機械製図の留意点
- 実践的機械図面の描き方
 - ・事例から学ぶ機械製図

※C01「実践機械製図」を受講後の受講をお勧めいたします。



機械設計/機械製図

2次元CADによる機械製図技術

千葉

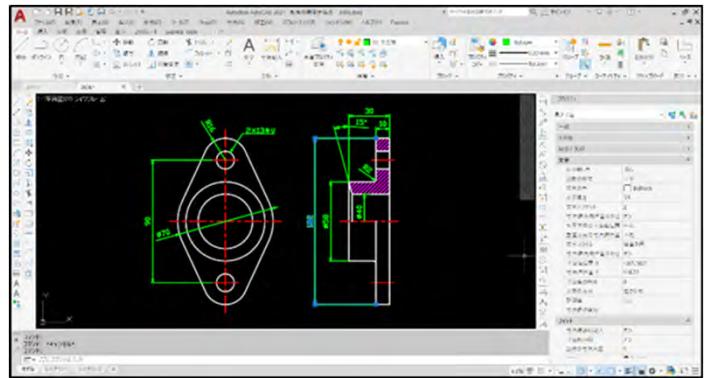
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C03	7月3日(木)、4日(金)	千葉キャンパス	15名	8,500円(税込)
日 数	2日間(14時間)			
時 間	9:00~17:00(7時間/日)			
使用機器	2次元CAD(AutoCAD2023)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

機械設計における2次元CADの活用による効率化と生産性の向上をめざして、図面の作図方法、CADを使用する場合の環境の構築、効率的な使用方法について習得します。

主な内容

- 2次元CADの概要、操作
- 機械製図の概要
- 作図機能、編集機能
- 図面出力
- 課題演習とまとめ



機械設計/機械製図

2次元CADによる機械製図技術

成田

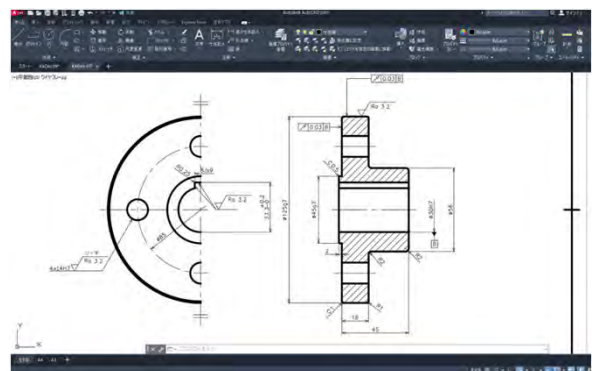
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N02	5月27日(火)、28日(水)	成田キャンパス	15名	8,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	2次元CAD(AutoCAD2023)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

機械設計における2次元CADの活用による効率化と生産性の向上をめざして、図面の作図方法、CADを使用する場合の環境の構築、効率的な使用方法について習得します。

主な内容

- 2次元CADの概要、操作
- 機械製図の概要
- 作図機能、編集機能
- 図面出力
- 課題演習とまとめ



機械設計/機械製図

3次元CADを活用したソリッドモデリング技術

千葉

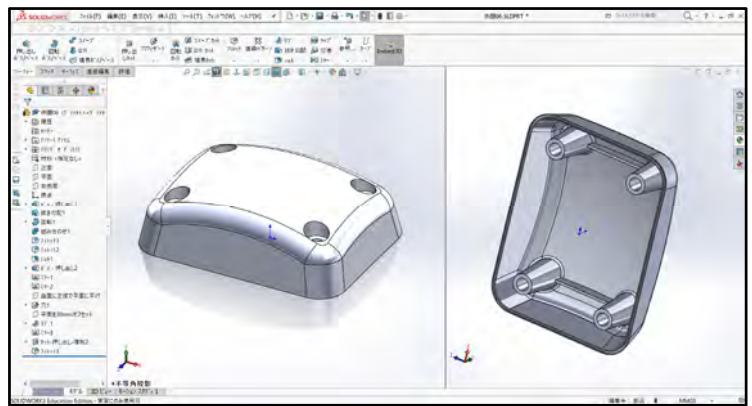
コース番号	日程	場所	定員	受講料
C04	7月17日(木)、18日(金)	千葉キャンパス	15名	8,000円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	3次元CAD(SolidWorks2023)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

3次元CADを活用し、部品形状をモデリングする際のテクニックを習得します。

主な内容

- 3次元CADの概要、操作
- スケッチ定義とフィーチャー操作
- モデリング演習
- 課題演習とまとめ



機械設計/機械製図

設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術

成田

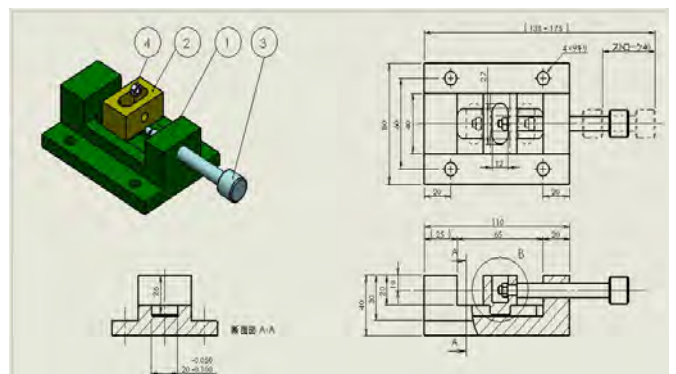
コース番号	日程	場所	定員	受講料
N03	6月9日(月)、10日(火)、11日(水)	成田キャンパス	15名	19,000円(税込)
日数	3日間(18時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	3次元CAD(SolidWorks2023)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

「製品(部品)機能=フィーチャ」と捉えた開発・設計への3次元CAD活用方法、図面の活用及び設計検討などの検証方法を習得します。

主な内容

- 設計の流れと検証ツール
- モデリング時のポイント
- 開発・設計のモデリング手法
- 設計検証
- まとめ



機械設計/機械製図

3次元CADを活用したアセンブリ技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C05	8月21日(木)、22日(金)	千葉キャンパス	15名	8,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	3次元CAD(SolidWorks2023)			
持参品他	筆記用具			

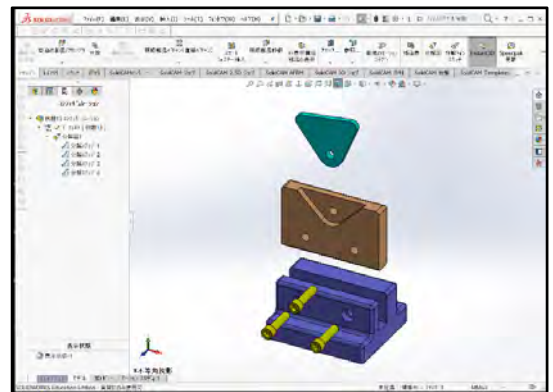
講習内容

高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用する検証実習を通して、設計検討項目の検証方法を習得します。

主な内容

- 設計とは
- アセンブリ3ヶ条
- アセンブリ機能を活用した検証方法
- まとめ

※「3次元CADを活用したソリッドモデリング技術」を受講後の受講をお勧めいたします。



機械設計/機械製図

3次元CADを活用したアセンブリ技術

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N04	6月30日(月)、7月1日(火)	成田キャンパス	15名	16,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	3次元CAD(SolidWorks2023)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

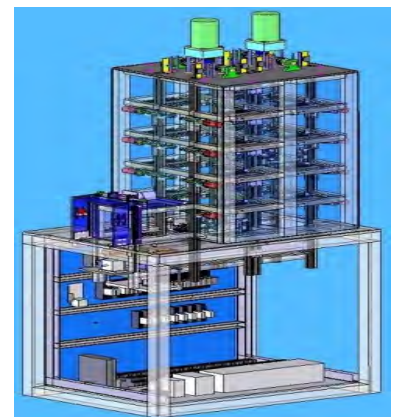
高付加価値化に向けたアセンブリ機能を活用する検証実習を通して、設計検討項目の検証方法を習得します。

主な内容

- 設計とは
- アセンブリ3ヶ条
- アセンブリ機能を活用した検証方法
- まとめ

※「3次元CADを活用したソリッドモデリング技術」または「設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術」のどちらかを受講後の受講をお勧めいたします。

※基本操作の習得を主体とした内容ではありませんので、あらかじめご了承ください。



能力開発セミナーコース 概要

機械設計/機械製図

設計者のための機械加工技術

成田

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N05	9月30日(火)、10月1日(水)	成田キャンパス	10名	12,000円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	普通旋盤、フライス盤、NC旋盤、マシニングセンタ、各種測定器等			
持参品他	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、保護眼鏡(保護眼鏡は貸出可)			

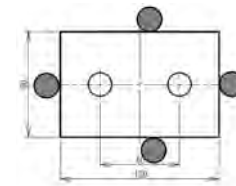
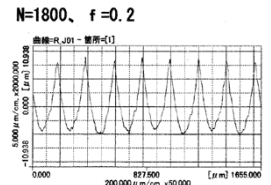
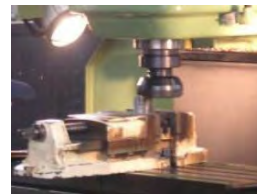
講習内容

設計の後工程(加工)を知ることで設計の高付加価値化をめざすコースです。
各種工作法の理解と工作機械による実演、加工体験を通して設計者として知っておくべき機械加工の特徴および加工精度、問題点等を習得します。

主な内容

- 機械工作法と工作機械
- 加工の特徴(旋盤、フライス盤)
- 工具について(種類、形状、活用方法)
- 作られる製品形状
- 表面粗さについて
- 加工実習(各種工作機械による実演と体験実習)

※体験実習はフライス加工でのみ実施します。



試作/解析/評価

設計者CAEを活用した構造解析

成田

コース番号	日程	場所	定員	受講料
N06	8月4日(月)、5日(火)、6日(水)	成田キャンパス	15名	22,000円(税込)
日数	3日間(18時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	3次元CAD(SolidWorks2023)			
持参品他	筆記用具			

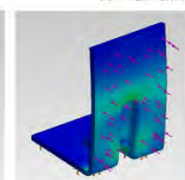
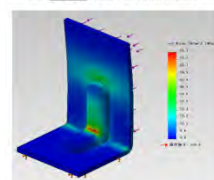
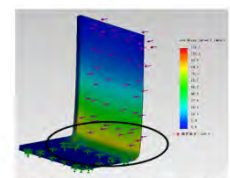
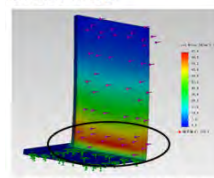
講習内容

モデル化、境界条件設定、メッシュ分割による解析実習などを通して、構造設計における線形構造解析の活用、結果の評価法を習得します。

主な内容

- 設計と構造解析概論
- 有限要素法メッシュと精度
- 各種物理現象
- 課題演習
- 解析事例及びモデリング、評価

応力集中の改善



【3】 穴を追加することで、応力値を下げることができる。

機械・精密測定/機械検査

精密測定技術

千葉

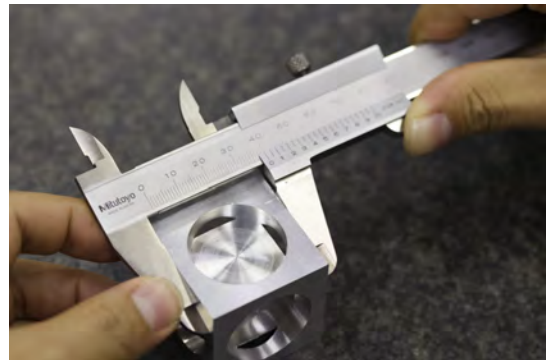
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C06	4月17日(木)、18日(金)	千葉キャンパス	12名	9,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	スケール、ノギス、マイクロメータ、ハイトゲージ、ダイヤルゲージ、シリンダーゲージ			
持参品他	筆記用具			

講習内容

測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、データ活用、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得する。

主な内容

- 測定の重要性
- 各種測定器の原理と測定方法
- 長さ測定実習
 - ・ノギス
 - ・マイクロメータ
 - ・ハイトゲージ
 - ・ダイヤルゲージ
 - ・シリンダーゲージ
- 演習及びまとめ



機械・精密測定/機械検査

精密測定技術

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N07	8月5日(火)、6日(水)	成田キャンパス	6名	12,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	測定器(ノギス、マイクロメータ、ダイヤルゲージ、ブロックゲージ)、被測定物			
持参品他	筆記用具、作業服(上)			

講習内容

機械部品製造における機械加工及び測定・検査作業の技能高度化を目指して、製造現場で用いられる測定機器の最適な選択と能率的測定技能・技術を習得します。

主な内容

- 測定・検査の概論
- 各種測定器の原理と測定方法
- 測定誤差について
- 間接測定



能力開発セミナーコース 概要

汎用機械加工

New

旋削加工の理論と実際

成田

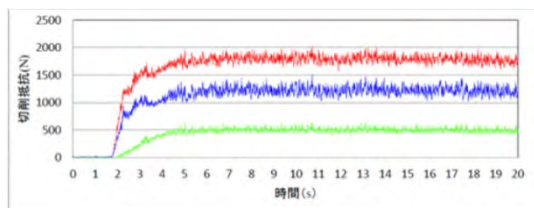
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N08	10月28日(火)、29日(水)	成田キャンパス	10名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	普通旋盤、各種切削工具、切削動力計、各種測定器(ノギス、マイクロメータ等)			
持参品他	筆記用具、作業服、作業帽			

講習内容

切削検証実習を通して、切削理論と実際の相違点を理解し、生産現場における問題を改善できる能力を習得します。

主な内容

- 切削理論及び加工技術
- 切削検証
- 検証データのまとめと考察



汎用機械加工

旋盤加工技術

成田

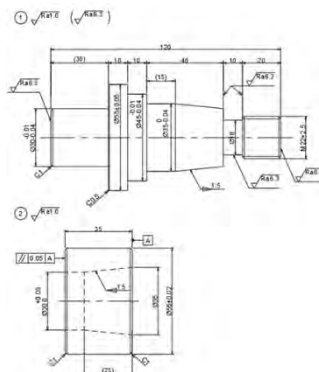
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N09	5月12日(月)、13日(火)、14日(水)	成田キャンパス	6名	17,500円(税込)
日 数	3日間(18時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	普通旋盤、各種切削工具、各種測定器(ノギス、マイクロメータ等)			
持参品他	筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴、座学室内用の履物、保護メガネ			

講習内容

効率化、最適化(改善)、安全性向上に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、旋盤作業に関する技能・技術を習得します。

主な内容

- 旋盤の操作・取扱い
- 切削条件の基本設定
- 総合課題実習
 - ・心出し作業
 - ・外径加工
 - ・内径加工



汎用機械加工

フライス盤加工技術

成田

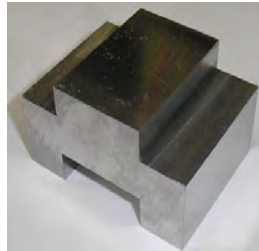
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N10	6月9日(月)、10日(火)、11日(水)	成田キャンパス	6名	17,500円(税込)
日 数	3日間(18時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	立てフライス盤、各種切削工具、各種測定器(ノギス、マイクロメータ等)			
持参品他	筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴、座学室内用の履物、保護メガネ			

講習内容

効率化、最適化(改善)、安全性向上に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、実践的なフライス作業に関する技能・技術を習得します。

主な内容

- フライス盤の操作・取扱い
- 切削条件の設定
- 総合課題実習
 - ・マシンバイスの平行出し作業
 - ・正面フライスによる六面体加工
 - ・フラットエンドミルによる段付け加工
 - ・フラットエンドミルによる溝加工



汎用機械加工

旋盤加工応用技術
(高精度加工編)

成田

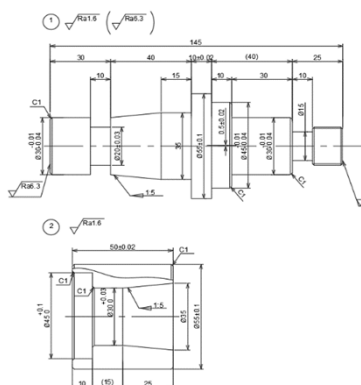
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N11	6月16日(月)、17日(火)、18日(水)	成田キャンパス	6名	20,500円(税込)
日 数	3日間(21時間)			
時 間	9:15~17:00(7時間/日)			
使用機器	普通旋盤、各種切削工具、各種測定器(ノギス、マイクロメータ等)			
持参品他	筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴、座学室内用の履物、保護メガネ			

講習内容

汎用機械加工の現場力強化をめざし、技能高度化に向けた加工実習を通して、加工方法の検討や段取り等、実践的な旋盤作業に関する技術を習得します。

主な内容

- 旋盤の操作・取扱い
- 切削条件の応用設定
- 総合課題実習
 - ・外径加工
 - ・内径加工
 - ・ねじ加工
 - ・テーパ加工



能力開発セミナーコース 概要

NC機械加工

NC旋盤加工技術

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N12	6月23日(月)、24日(火)、25日(水)	成田キャンパス	10名	12,000円(税込)
日 数	3日間(18時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	NC旋盤(機種:OKUMA LB3000EXII、制御装置:OSP-P300L、G言語プログラム使用)			
持参品他	筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴、座学室内用の履物、保護メガネ			

講習内容

加工課題実習を通してツーリングや治具・取付具等に関する知識、各種加工のための段取り作業のポイント等、精度向上やサイクルタイム短縮等に役立つ技能・技術を習得します。

主な内容

- ツーリング、取付具、各種工具
- 主要なNCコード
- 工具機能、刃先半径補正機能
- 複合型固定サイクルの活用
- 加工課題実習



NC機械加工

マシニングセンタ加工技術

成田

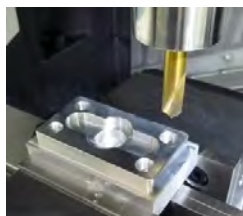
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N13	7月7日(月)、8日(火)、9日(水)	成田キャンパス	10名	14,500円(税込)
日 数	3日間(18時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	立形マシニングセンタ(機種:Mazak FJV-200II、制御装置:MAZATROLmatrix2、G言語プログラム使用)			
持参品他	筆記用具、作業服(上・下)、作業帽、安全靴、座学室内用の履物、保護メガネ			

講習内容

NC機械加工の生産性向上を目指し、効率化、最適化(改善)に向けた加工実習を通して、高精度・高能率技能・技術を習得します。

主な内容

- ツーリング、取付具、各種工具
- 主要なNCコード
- 座標系設定と工具長。工具径補正機能
- 固定サイクルの活用法
- サブプログラムの活用法
- 加工課題実習



機械保全

生産現場の機械保全技術

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N14	11月18日(火)、19日(水)	成田キャンパス	10名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	作業工具一式、振動測定装置一式、回転装置一式			
持参品他	筆記用具、作業服(上)、作業帽			

講習内容

生産機械に用いられる伝動装置に関して、未然にトラブルを防ぐための日常点検に不可欠な、機械の正常な状態の把握、早期に異常を発見するための定量的な評価方法を習得します。

主な内容

- 機械要素(ボルト・ナット)に関する保全
- 伝達系機械要素(転がり軸受、歯車等、Vベルト、チェーンの保全)
- 密封装置について



金属熱処理/金属表面処理

New

鉄鋼材料の熱処理技術

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N15	12月16日(火)、17日(水)	成田キャンパス	10名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	電気炉、金属顕微鏡、硬さ試験機			
持参品他	筆記用具、作業服、作業帽			

講習内容

金属熱処理の生産性の向上を目指して、各種熱処理技術に必要な鉄鋼材料の知識と各種熱処理方法、評価技術および熱処理の不具合とその対策に関する技能と技術を習得します。

主な内容

- 鉄鋼材料の基礎
- 熱処理概論
- 鉄鋼材料の熱処理
- 材料の組織観察
- 材料の硬さ試験



アナログ回路設計

New

オペアンプ回路の設計・評価技術

千葉

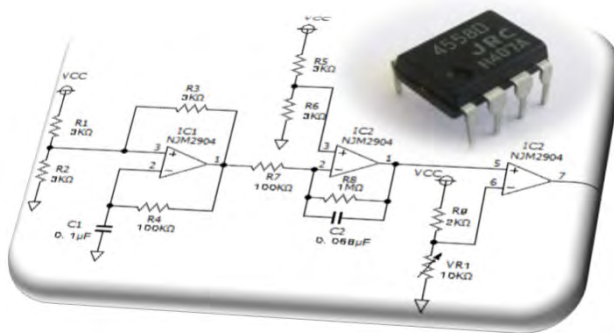
コース番号	日程	場所	定員	受講料
C07	8月5日(火)、6日(水)	千葉キャンパス	10名	10,000円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	直流安定化電源、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、FRA、デジタルマルチメータ、実習用基板			
持参品他	筆記用具			

講習内容

アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた計測結果による検証を通して、オペアンプ回路の設計技術とその評価技術を習得する。

主な内容

- コース概要
- オペアンプの知識
- オペアンプの利用と知識
- オペアンプ利用回路の設計方法
- オペアンプ回路の設計・評価実習
- まとめ



アナログ回路設計

シミュレータを活用したオペアンプ回路設計技術 (LTspiceによるオペアンプ回路シミュレーション技法)

千葉

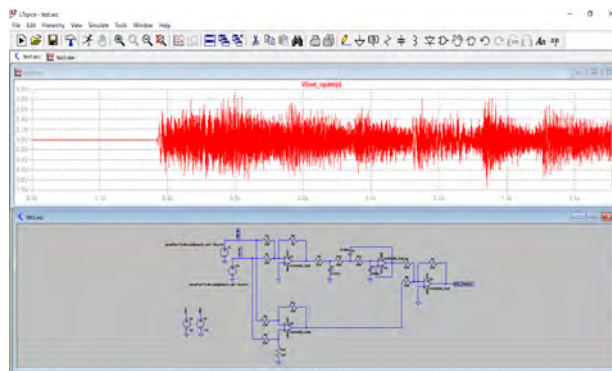
コース番号	日程	場所	定員	受講料
C08	3月24日(火)、25日(水)	千葉キャンパス	10名	12,500円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	パソコン、回路シミュレータ(LTspice)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

アナログ回路設計の生産性の向上をめざして、最適化(改善)に向けたシミュレーション結果による検証をする。また、電子機器の開発・試作時に必要となるオペアンプ回路の設計技術を回路シミュレーションを行いながら習得する。

主な内容

- オペアンプ回路の基本動作
- 増幅回路と信号変換
- 発振回路
- 入出力特性、周波数特性、位相余裕
- まとめ



アナログ回路設計

アナログフィルタ回路設計・評価技術

千葉

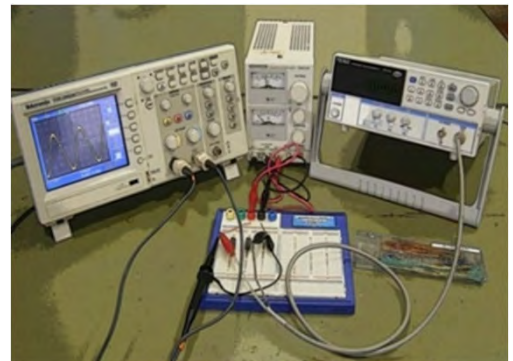
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C09	12月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	10名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	直流安定化電源、デジタルマルチメータ、信号発生器、オシロスコープ、ブレッドボード			
持参品他	関数電卓、定規、筆記用具			

講習内容

受動素子および能動素子を使用してアナログ回路の設計・開発の効率化・最適化(改善)をめざして、実用的なアナログフィルタ回路の設計技術とその評価技術を習得します。

主な内容

- アナログフィルタの種類
- パッシブフィルタの設計法
- パッシブフィルタの設計・評価実習
- アクティブフィルタの設計法
- アクティブフィルタの設計・評価実習



シーケンス(PLC)制御設計

有接点シーケンス制御の実践技術

千葉

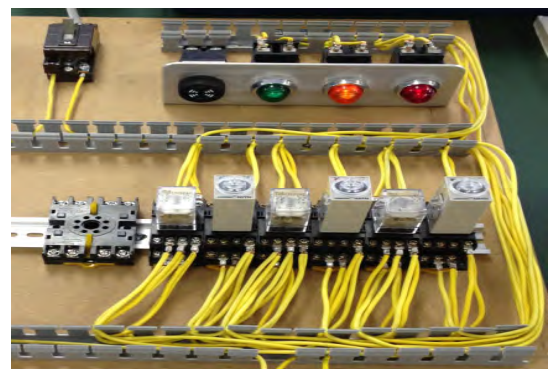
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C10	5月13日(火)、14日(水)	千葉キャンパス	10名	9,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	リレー盤、テスタ、各種工具			
持参品他	筆記用具			

講習内容

シーケンス制御回路の図面の読み方と配線方法を習得します。リレーやタイマ等に代表されるシーケンス制御を構成する基本的な機器の機能・構造・選定方法を学習し、実際の配線作業を通してシーケンス制御回路の基本について学習します。

主な内容

- シーケンス制御の概要
- シーケンス図、制御機器について
シーケンス図の読み方、機器の仕組みについて学ぶ
- 配線作業の方法、注意事項
配線作業の基本を学ぶ
- シーケンス制御の実習
基本回路、自己保持回路、タイマ回路などの各制御方法を実習を通して学習する



生産システム保全

実践的PLC制御技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C11	9月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	10名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	PLC(三菱Qシリーズ)、ツール(MELSEC_GX Works2)、負荷装置(コンベア搬送装置)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

PLCの概要及び入出力機器配線、制御回路(ラダープログラム)の作成方法を実習をとおして理解し、デバッグ機能や保守に関してもわかり易く講習します。

主な内容

- PLC制御の概要
PLCの基本について学習する
- I/O割付、入出力機器配線
PLCと各制御機器の配線方法を学習する
- ラダープログラミング
ラダープログラムの作成方法について学習する
- パラメータ設定、モニタ、デバック
プログラムのモニタ、デバックの手法について学習する
- 総合実習
模擬負荷装置を利用した実践的な制御実習を行う

※本コースは、『有接点シナプス制御の実践技術』を受講された方、又は同等の知識をお持ちの方を対象としています。



実習イメージ(制御対象は変わる可能性があります)

メカトロニクス設計

産業用ロボット活用技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C12	1月15日(木)、16日(金)	千葉キャンパス	6名	13,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	三菱電機産業用ロボット(RV-2F-Dシリーズ)、PLC(三菱電機Qシリーズ)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

6軸多関節タイプの産業用ロボットのシステムについて操作方法、プログラミング、PLC連携、安全について実習を通じて習得します。

主な内容

- 産業用ロボットシステムの概要
- 産業用ロボットシステムの操作方法
 - ・ティーチング実習
 - ・プログラミング実習
- CC-Linkによる産業用ロボットとPLCの連携
- 総合実習

※労働安全衛生法に基づく特別教育ではありません。



デジタル回路設計

デジタル回路設計技術
(FPGAを用いたデジタル回路設計技術)

千葉

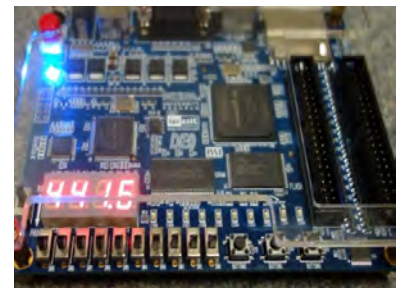
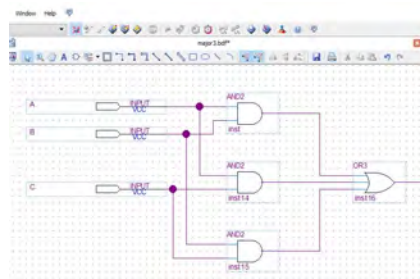
コース番号	日程	場所	定員	受講料
C13	3月12日(木)、13日(金)	千葉キャンパス	10名	10,000円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	FPGAボード(Intel社製Cyclone3)、回路図入力ツール(Nios2)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

プログラマブルでデジタル回路が構築可能なFPGAデバイスを使用して、デジタル回路の組合せ回路、順序回路の設計手法を学びます。基本ゲート回路を回路図で入力することでデジタル回路の基本動作および設計の勘所を習得します。

主な内容

- デジタル回路とその特徴
- 組合せ論理回路の設計手法
- エンコーダ・デコーダ回路
- 順序回路の設計手法
- フリップ・フロップ回路、レジスタ回路
- 応用回路設計(スロットマシン回路)



回路図入力ツールとFPGAボード

デジタル回路設計

New

HDLによるLSI開発技術
(Verilog-HDLを用いたデジタル回路設計技術)

千葉

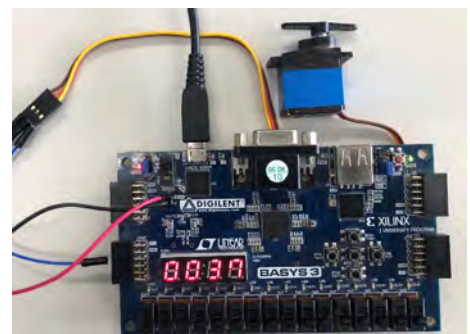
コース番号	日程	場所	定員	受講料
C14	7月30日(水)、31日(木)	千葉キャンパス	10名	10,000円(税込)
日数	2日間(12時間)			
時間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	FPGAボード(AMD社製Artix-7)、FPGA開発ツール(Vivado)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

プログラマブルなハードウェアとしてFPGAデバイスを使用し、HDLによる効率的なデジタル回路システムの設計手法について学びます。HDLとして「Verilog HDL」を使用し、文法および基本構文、シミュレーションのためのテストベンチ記述手法を実際に設計をしながら習得します。最後に小規模なデジタル回路システムをFPGAに実装します。

主な内容

- HDLの概要とその特徴
- Verilog-HDLの文法、基本構文
- テストベンチ記述とシミュレーション
- 組合せ回路および順序回路設計
- 設計演習課題(RCサーボ制御回路システム)



設計演習課題(RCサーボ角度制御)

組込みシステム開発・設計

組込みシステムにおけるプログラム開発技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C15-1	6月10(火)、11日(水)	千葉キャンパス	10名	8,000円(税込)
C15-2	2月18日(水)、19日(木)	千葉キャンパス	10名	8,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	マイコンボード(ルネサスエレクトロニクス RX231マイコン)、安定化電源、オシロスコープ、パソコン等			
持参品他	筆記用具			

講習内容

32bitCISCタイプのマイコン(RX231)を使用し、I/O制御プログラミング実習、割り込み処理プログラミング実習(入力割り込み、タイマ割り込み等)を通して組込みマイコンシステムの概念・役割を理解し、システムの設計・開発技法を習得します。

主な内容

- 組込みC言語のプログラム
- 組込みシステムの開発環境
- スイッチ、LED、LCDを使用したI/O制御
- 入力割り込み、タイマ割り込み
- 応用実習課題



組込みシステム開発・設計

センサを活用したIoTアプリケーション開発技術

千葉

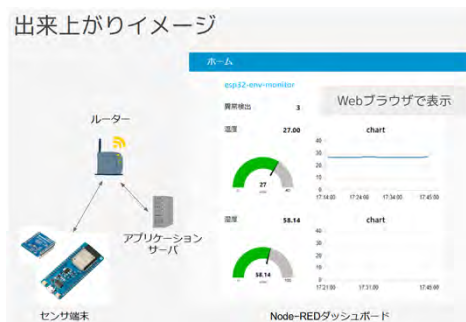
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C16-1	8月21日(木)、22日(金)	千葉キャンパス	10名	12,000円(税込)
C16-2	3月16日(月)、17日(火)	千葉キャンパス	10名	12,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	マイコンボード、センサモジュール(温湿度、気圧等)、ブレッドボード等			
持参品他	筆記用具			

講習内容

組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けたセンサネットワークプログラミングやクラウドサービスを利用したプログラミング実習を通してIoTアプリケーション開発技術を習得します。

主な内容

- コース概要及び留意事項
 - ・コースの目的、専門的能力の現状確認 等
- クラウド技術とIoT
 - ・センサネットワークとクラウド技術の概要 等
- IoTの活用事例
 - ・モニタリングとは、システムの構成仕組み 等
- センサネットワーク技術
 - ・エンドデバイスの通信制御プログラム 等
- 環境モニタリング実習
 - ・総合実習(センサデバイスのデータ活用) 等



環境モニタリング実習の内容(一部)

マイコン制御設計

マイコン制御システム開発技術
(Raspberry Pi編)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C17-1	7/30(水)、31(木)	千葉キャンパス	10名	11,000円(税込)
C17-2	3/12(木)、13(金)	千葉キャンパス	10名	11,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	Raspberry Pi 3B(使用予定)、開発用パソコン、ブレッドボード、その他各種部品			
持参品他	筆記用具			

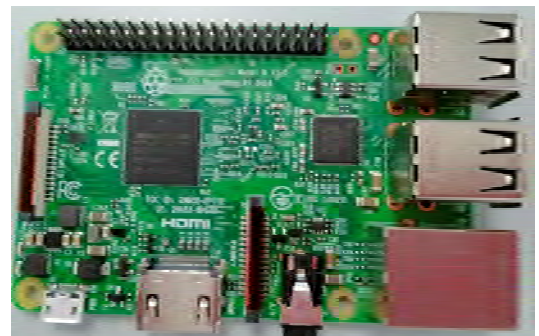
講習内容

組み込み機器分野やIoTで注目されているRaspberry Piを用い、Linux系OS上で動作するプログラム作成を通して外部装置(センサーやモータ等)の制御システム開発技法を習得します。

主な内容

- Raspberry Piの概要
- 環境構築及び設定
- 周辺回路及び内蔵機能の活用実習
- Python言語による制御プログラム実習
- まとめ(質疑・応答含む)

※進捗状況等により内容の変更がある場合がございます。
※Raspberry Pi 3B以外のRaspberry Piを使用する可能性があります。



通信設備工事／情報配線施工

光伝送路構築技術
(光ファイバ施工に係る知識・技術の習得)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C18	9月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	10名	20,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	融着接続器、メカニカルプライス器、ケーブルアナライザ(OTDR、光ロステスタ)、光接続箱 等			
持参品他	筆記用具、作業しやすい服装			

講習内容

光ファイバ通信のしくみから光ファイバ施工に必要となる知識、光ファイバケーブルの端末処理、余長処理、さらに施工後の測定・評価方法などを実習を通して習得します。

主な内容

- 光ファイバの概要
 - ・光通信の原理、光ファイバの特徴と種類、光コネクタ、接続の種類など
- 光ファイバの接続
 - ・各種光ファイバの接続(融着接続、メカニカルプライス、コネクタ接続)
- 汎用情報配線設備等の規格
 - ・光ファイバ施工に関する規格について(TIA、ISO、JIS)
- 配線・施工
 - ・光ファイバのケーブル端末処理、余長処理
- 測定試験
 - ・光ファイバケーブルの測定方法(LSPM法、OTDR法)
- 測定・評価
 - ・施工後の測定・評価



能力開発セミナーコース 概要

通信設備工事／情報配線施工

LAN構築施工・評価技術 (LAN施工に係る知識・技術の習得)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C19	8月21日(木)、22日(金)	千葉キャンパス	10名	18,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	ケーブルアナライザ、LANスイッチ、工具類、配線部材 等			
持参品他	筆記用具、作業しやすい服装			

講習内容

LAN配線工事作業に必要なとなるネットワークの知識、ケーブルの端末処理、配線技術、さらに施工後の測定・評価方法などを実習を通して習得します。

主な内容

- LANの概要
 - ・LANの種類や構成、配線部材、ネットワーク機器など
- 汎用情報配線設備等の規格
 - ・LAN施工に関する規格について(TIA、ISO、JIS)
- 端末処理
 - ・各種規格に基づくコネクタの成端作業
- 測定・評価
 - ・LANケーブル、配線施工後の測定・評価
- まとめ
 - ・施工現場におけるトラブルシューティング



電力設備保全／電力変換設備保全

高圧電気設備の保守点検技術

千葉

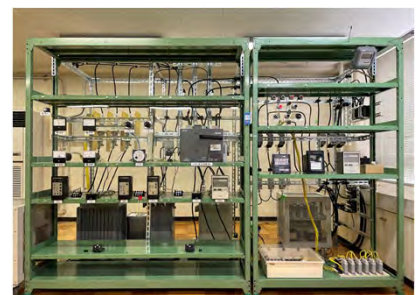
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C20-1	5月15日(木)、16日(金)	千葉キャンパス	10名	12,000円(税込)
C20-2	10月2日(木)、3日(金)	千葉キャンパス	10名	12,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	模擬高圧電気設備実習装置、高圧用保護継電器、継電器試験機、位相特性試験機			
持参品他	筆記用具			

講習内容

高圧電気設備の構成や高圧機器の操作方法、保護継電器試験機(リレー試験機)の試験方法を学習するコースです。模擬高圧電気設備実習装置を用いて、実際の点検作業を想定した実習を行います。

主な内容

- 高圧電気設備の構成
- 保護継電器の概要
- 動作特性試験実習
 - ・OCR(OMRON社製)
 - ・GR(OMRON社製)
 - ・DGR(戸上電機社製)
- VCB連動試験実習
- DGR付きPAS・SOGの動作試験
- 高圧ケーブルの絶縁耐力試験



建築企画／開発／デザイン

BIMを用いた建築設計技術

千葉

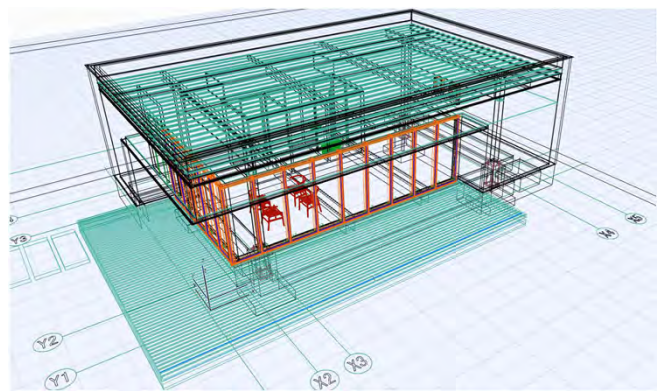
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C21	8月19日(火)、20日(水)	千葉キャンパス	10名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	パソコン、BIMソフト(ArchiCAD)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

建築設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化に向けた設計実習を通して、BIMを用いた建築設計に関する技術を習得します。

主な内容

- BIMの現状、活用事例
- 対象建築物の条件設定
- モデルの作成
- パースの作成
- 各種図面のレイアウトと出力



建築計画／見積／積算

バリアフリー住宅の設計実践技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C22	8月7日(木)、8日(金)	千葉キャンパス	10名	13,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	パソコン、製図用具			
持参品他	筆記用具			

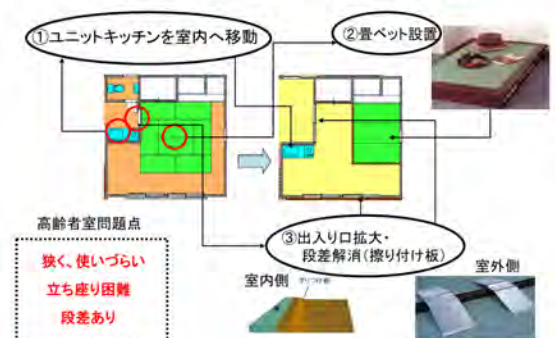
講習内容

建築計画の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けたバリアフリー住宅設計実習を通してバリアフリー住宅の設計技術を習得する。

主な内容

- バリアフリー住宅とは何か。
- 高齢者・障害者の適正動作寸法とは何か。
- 各部屋の設計ポイント
- 各部位の設計ポイント
- 設備・設計ポイント
- 高齢者・障害者の住宅計画および設計図作成
- 発表・まとめ

高齢者室(和室8)改良点



建築設計／建築製図

実践建築設計2次元CAD技術

千葉

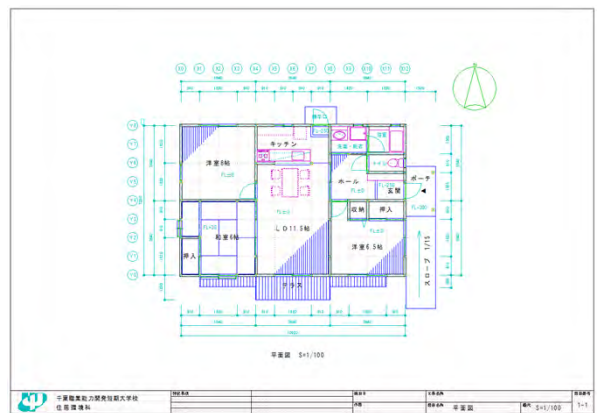
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C23	5月15日(木)、16日(金)	千葉キャンパス	10名	7,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	パソコン、2次元CAD(JW-CAD)			
持参品他	筆記用具			

講習内容

建築図面の生産性の向上をめざし、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた図面作成の実習を通して、建築図面に関する作成技術を習得します。

主な内容

- JW-CADの概要
- 画面操作・各種設定
- 各種コマンド使用法
- 平面図作成実習
- 各種図面作成



建築情報支援

地理情報システムの運用技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C24	8月7日(木)、8日(金)	千葉キャンパス	10名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	パソコン			
持参品他	筆記用具			

講習内容

建築設計業務における高効率業務の実現及び高付加価値情報の創出をめざして、地図を利用した情報管理システム、いわゆる地理情報システム(GIS)の運用技術を習得します。

主な内容

- 地理情報システムの概要
- 地理情報システムの建築への活用
- 地理情報システムの操作とデータ活用
- データの作成
- データの解析



施工計画／施工管理

実践的な施工図作成技術

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C25	8月23日(土)、30日(土)	千葉キャンパス	10名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:30(6時間/日)			
使用機器	パソコン、CADソフト(Jw_CADまたはAutoCAD)			
持参品他	筆記用具			

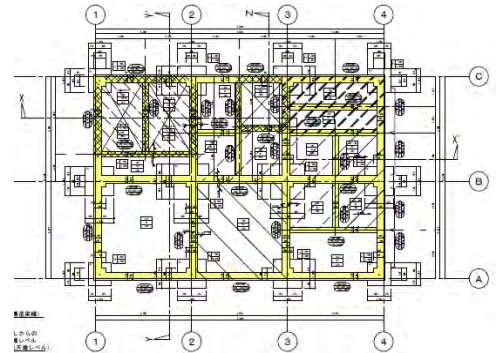
講習内容

施工計画の強化及び技能継承をめざし、技能の高度化に向けた躯体工事の施工計画と納まりの理解を深めることを目的とします。設計図書を熟読し、コンクリート躯体図を作図します。実習を通して、実践的な施工計画に必要な知識及び技術を習得します。

主な内容

- 基礎躯体コンクリート施工図作成演習
- 1階立上り躯体コンクリート施工図作成演習

※Jw_CADまたはAutoCADの操作ができる方に限ります(中級以上)。



建築検査／耐震診断

New

木造耐力壁の壁倍率評価技術

千葉

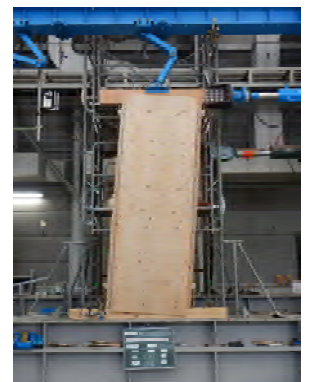
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C26	7月19日(土)、26日(土)	千葉キャンパス	10名	13,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:30(6時間/日)			
使用機器	壁せん断試験機、パソコン			
持参品他	筆記用具、作業服、ヘルメット			

講習内容

木造耐力壁の新たな品質及び製品の創造をめざして、高付加価値化に向けた壁倍率の評価を実際の耐力壁の実験・計測及び実験結果の分析を通して、耐力壁の評価方法について習得します。

主な内容

- 耐力壁の壁倍率評価実験
- 加力方法及び計測方法
- 実験結果の分析と評価
- 質疑応答



能力開発セミナーコース 概要

生産計画／生産管理

製造業における実践的生産管理

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C27	10月16日(木)、17日(金)	千葉キャンパス	12名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30～16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(スマホ等可)、ノート			

講習内容

生産計画／生産管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた生産管理の原理・原則を理解し、製造活動における課題の把握力や柔軟な対応力・改善能力を習得します。

主な内容

- 生産管理とは
 - ・生産管理の意義と内容、生産形態の分類、生産計画と生産統制(講義と演習)
 - ・各業務別管理の要点(設計・開発業務、資材調達業務、生産業務、営業・販売業務)
- 生産管理の実態
 - ・製造企業の実態
 - ・参加企業が困っている生産管理の問題点と深掘(質疑・応答形式)
- 生産管理演習
 - ・生産期間短縮のための課題と具体化方針
 - ・生産計画作成の課題と具体化方針
 - ・即納を維持するための課題と具体化方針
 - ・他部門と連携するための課題と具体化方針
- まとめ

工程管理／技術管理

生産現場のための実践作業標準 (生産現場改善のための作業標準の習得)

千葉

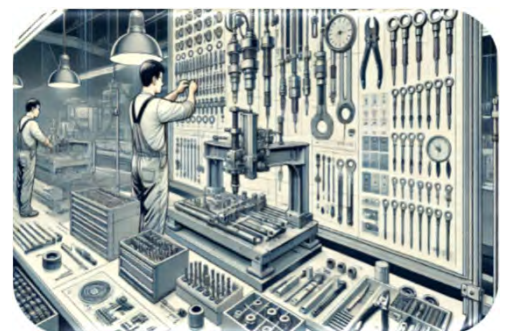
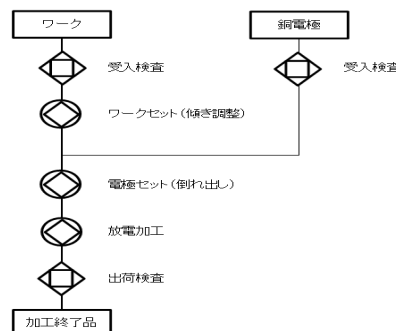
コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C28	10月6日(月)、7日(火)	千葉キャンパス	10名	10,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30～16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(スマホ等可)			

講習内容

製造現場での効率化、作業標準の体系化を通して標準作業手順書の作成をマスターするコースである。製造現場での問題点の抽出、重要度策定、継続的な活動の在り方、自社への導入及び定着に必要な知識・技術を習得する。

主な内容

- 作業標準とは
- 作業標準書とは
- 標準時間と現場
- 国際規格と作業標準書
- 作業標準書の管理
- 作業標準書関連の工程表
- 生産現場に活用できる応用課題



工程管理／技術管理

実践生産性改善

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C29	12月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	15名	8,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30～16:20 (6時間/日)			
使用機器	パソコン、プロジェクター等			
持参品他	筆記用具			

講習内容

生産工程の効率化・最適化をめざして、多種少量、短納期といった市場の要望に低コストで素早く対応するため、生産現場の見えない問題を見える化する際の視点と考え方並びに全体最適を考慮に入れた生産性の高い生産現場の構築方法について習得します。

主な内容

- 製造業の背景
- 生産性向上のための現場運営の視点
- 生産現場の評価と視点と改善方法
- 生産現場の構築演習
- 生産性改善実習
- 改善性計画の立て方
- まとめ

工程管理／技術管理

生産現場改善手法
(現場力向上)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C30	5月21日(水)、22日(木)	千葉キャンパス	20名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00～16:00(6時間/日)			
使用機器	ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙			
持参品他	筆記用具			

講習内容

生産現場の問題をどのように認識(発見)し、改善テーマを見つけていくのか、そして改善テーマに対してどのような改善行動を取ればよいのか、作業環境・作業・作業要員の3つの軸で現場を改善する手法を習得します。

主な内容

- 生産現場の課題
 - ・能率・材料・作り直しのムダ
 - ・動きにくい・見にくい・判りにくい
 - ・問題意識を持って作業現場を見ていない
- 生産現場の分析
 - ・IE概要
 - ・問題の定量化
 - ・レイアウト分析・導線分析
 - ・作業要員分析
- 現場カイゼン
 - ・改善ルールと使い方
 - ・段取りカイゼン・作業カイゼン
 - ・作業要員カイゼン(リーダーシップとコーチング)
- 現場の付加価値
 - ・現場の付加価値を高めるメリット
 - ・作業の付加価値・人の付加価値
- 総合演習
 - ・生産現場ケーススタディ
- まとめ

能力開発セミナーコース 概要

工程管理／技術管理

なぜなぜ分析による製造現場の問題解決

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N16	11月12日(水)、13日(木)	成田キャンパス	15名	11,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30～16:20 (6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン、組立実習用製品、分解組立用工具			
持参品他	筆記用具、ノート			

講習内容

工程管理／技術管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた事象の論理的つながりを軸に効率的かつ効果的な問題解決手法の実践を通して、製造現場の問題を解決する能力を習得します。

主な内容

- 効果的な問題解決
 - ・効果的・効率的な問題解決とは(問題解決思考と論理、体系的思考と暗算的思考)
 - ・演習 情報整理と仕分け
- なぜなぜ分析の進め方
 - ・効率的な問題解決の進め方(なぜなぜ分析のポイント、問題解決に役立つツールと使い方、問題の定量化、論理の精査とIsnotによる真因検証、対処と解決)
 - ・演習 真因追及と検証
- 総合演習
 - ・なぜなぜ分析で製造現場の問題解決
 - ・事例読み込み(事例:製品組立て工程におけるネジ締結不良)
 - ・問題の抽出と真因追及
 - ・真因検証と解決策の策定
 - ・解決策の評価
 - ・発表と講師講評
- まとめ

品質管理

製造業に活かす品質管理技法

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C31	11月25日(火)、26日(水)、27日(木)	千葉キャンパス	12名	10,000円(税込)
日 数	3日間(18時間)			
時 間	9:30～16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(スマホ等可)、ノート、定規			

講習内容

品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた製造現場で活用できる品質管理手法を習得します。

主な内容

- 製造業における品質管理の技法
 - ・データの取り方とまとめ方
 - ・継続生産の管理手法と加工部品に対する管理図の作り方
 - ・個別生産・ロット生産の管理手法
 - ・相関分析値による生産状態の解析
 - ・不良・障害要因を追求するための手法
- 製造業における品質保証の方法
 - ・製品検査のステップと製品検査の種類
 - ・生産現場における作業の標準化(QC工程表の作成、製造工程管理表の作成)
 - ・加工製品に対する品質保証体系図
 - ・作業工程重視の品質保証
 - ・加工製品に対する特性データの分布を分析する手法
 - ・測定値の分布と規格値の関係
- 生産現場における管理手法の活用実習
 - ・統計的な手法を用いた製品寸法変化の予測
 - ・生産ラインに対する品質管理手法の適応
- 応用課題演習
 - ・生産ラインにおける測定データを元にした不良率の分析課題演習
 - ・生産ラインの工程能力指数及び分布と規格値に関する応用課題実習
- まとめ

品質管理

成功事例から学ぶ品質の維持と向上

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N17	12月17日(水)、18日(木)	成田キャンパス	15名	11,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン、ホワイトボード、模造紙、付箋、マーカー、工作機械			
持参品他	筆記用具、ノート			

講習内容

品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた品質改善のための手法の理解を通じて、品質管理の重要性と有用性を習得します。

主な内容

- 品質概論
 - ・買手の要求に合った品質とは
 - ・品質管理と品質改善
 - ・設計品質・製造品質
 - ・品質検査の方法と特徴
- 品質管理の取り組み
 - ・定量的な分析と定性的な分析(QC7つ道具、新QC7つ道具)
 - ・製造段階、開発設計段階、商品企画段階での質向上
 - ・固有技術を踏まえた側からの品質管理のあり方
- 品質管理演習
 - ・モノづくりゲーム
 - ・品質向上策の検討
 - ・不具合要因の洗い出し(QC7つ道具、新QC7つ道具)
 - ・モノづくりのやりなおし
- 事例と演習から学ぶ品質向上
 - ・経営面の効果・現場の効果
 - ・顧客の効果
 - ・ケース事例と問題抽出・改善検討
- まとめ

教育訓練計画／教育訓練実施

New

現場を動かすプレゼンテーションテクニック

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C32	7月1日(火)、2日(水)	千葉キャンパス	10名	10,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持参品他	筆記用具			

講習内容

生産現場におけるOJT業務の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた現場のリーダーとして身につけておくべきスキルを確認し、目的達成に向けた組織のベクトルを一致させることのできる能力を習得します。

主な内容

- コースの概要
- 現場監督のグリップ力
- 説得の技術
- 総合演習
- まとめ(講評・総括)



能力開発セミナーコース 概要

指導技法

5Sによるムダ取り・改善の進め方 (製造現場の5S改善や現場力の強化に役立てる)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C33-1	8月7日(木)、8日(金)	千葉キャンパス	12名	9,000円(税込)
C33-2	9月18日(木)、19日(金)	千葉キャンパス	12名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20 (6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(スマホ等可)、ノート			

講習内容

生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた生産現場で発生する問題の分析・改善技法及び指導技法を習得します。

主な内容

- 生産現場の構造
 - ・生産現場の構造の基本
 - ・企業活動の真の目的
 - ・5S改善とムダ取りとの関係
- 5S推進による現場の改善
 - ・5Sの定義と生産性向上の繋がり
 - ・整理・整頓の手順と指導方法
 - ・実践による現場改善の事例
 - ・指導技法を活用した躰の実践
 - ・5S改善演習
 - ・5Sと見える化の関係
- ムダ取りの実践による現場改善
 - ・ムダの定義と生産性向上の繋がり
 - ・事例紹介
 - ・ムダ取りの効率的な進め方
 - ・ムダ取り演習
- 現場改善のための指導技法
 - ・指導ポイントの整理(5S改善とムダ取りをセットにする。定着化を図る)
 - ・指導展開の要点(目標の設定、指導項目の設定、指導の展開方法、指導計画書の作成方法)
- まとめ

教育訓練計画／教育訓練実施

仕事と人を動かす現場監督者の育成

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C34-1	9月11日(木)、12日(金)	千葉キャンパス	12名	9,000円(税込)
C34-2	11月13日(木)、14日(金)	千葉キャンパス	12名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	プロジェクター、パソコン			
持参品他	筆記用具、電卓(スマホ等可)、ノート			

講習内容

生産現場における現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた現場のリーダーとして身につけておくべきスキルを確認し、監督者として生産性向上を実践する担当者との関わり方や仕事と現場を動かすための技能を習得します。

主な内容

- 現場監督(主任)の役割
 - ・監督の役割と意思決定(権限)と責任
 - ・作業の段取り確認と作業安全確保、作業品質維持、進捗確認
 - ・上下左右の報連相
 - ・演習(段取り、作業指示、問題解決)
- 現場監督(主任)に求められること
 - ・班のマネジメント(作業者の意欲向上と取りまとめ、問題を発見し課題と解決策検討)
 - ・マネジメントスキルの習得(組織論と組織開発、成果志向と関係構築志向、モチベーションとリーダーシップ)
 - ・演習(問題・課題解決の手順)
- より良い現場監督(主任)
 - ・現場のコミュニケーション
 - ・班員の指導育成
 - ・仕事を回す
 - ・演習(班のマネジメントケーススタディー)
- 演習(自己開発計画書の作成)
- まとめ

指導技法

技能伝承のための部下・後輩指導育成
(OJTトレーナー育成)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C35	10月27日(月)、28日(火)	千葉キャンパス	20名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙			
持参品他	筆記用具			

講習内容

生産現場における指導技法の現場力強化及び技能継承をめざして、技能高度化に向けた現場改善における多種多様な技術及び後輩育成のための指導技法を習得します。

主な内容

- 技能伝承
 - ・技能伝承の重要性
 - ・部下・後輩指導育成の概要(人材育成の3本柱、経営ビジョンと求める人材、指導役の指導)
- 部下・後輩育成の進め方
 - ・目的の提示
 - ・現状把握・分析(継承するノウハウの洗い出し、育成対象者の棚卸)
 - ・育成計画と育成(意図的計画的推進、進捗管理と効果測定)
- 育成担当者の行動
 - ・育成担当者に求められる5つのスキル
 - ・個別カリキュラム設計
 - ・指導のポイント(コミュニケーション、コーチング、支援的助言)
- 総合演習
 - ・部下指導育成の課題と育成計画の作成(事例読み込み、育成計画作成、部下後輩動機付け面接、講師評価)
- まとめ

安全管理

安全確保のための現場改善手法

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C36	7月10日(木)、11日(金)	千葉キャンパス	15名	6,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:30~16:20(6時間/日)			
使用機器	パソコン、プロジェクター等			
持参品他	筆記用具			

講習内容

グローバル化の加速で技術・技能の向上と安全の確保が絶対条件です。現場工程における本質の見える化と改善取組を[演習]を通して習得します。

主な内容

- SEQCDの必要性 : 環境の変化と安全管理の課題
- ヒヤリハット、KY&TBM活動で不足 : カバーできない領域を補てん
- 「事故・トラブルデータベース」活用 : 失敗から改善対策を学ぶ
- 「4M4E分析」 : ステップアップした見える化と本質的改善
- 安全・改善活動の継続 : 課題解決に向き合い、PDCAを回す
- フォローアップ&レビュー

安全管理

ヒューマンエラー対策実践
(ポカミスのない職場作り)

千葉

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
C37	6月2日(月)、3日(火)	千葉キャンパス	20名	9,000円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙			
持参品他	筆記用具			

講習内容

ヒューマンエラー発生メカニズムを理解し、エラーを発生させない仕組み作りと、エラー発生防止策の実践力を習得します。また、職場に展開し定着させる有効な手法を習得します。

主な内容

- ヒューマンエラーとは
 - ・ヒューマンエラー概要
 - ・ヒューマンエラー発生メカニズム
 - ・行動科学と心理的要因
- ヒューマンエラー防止策
 - ・予防安全と発生時対処
 - ・設備や作業要素からヒューマンエラーの要因を排除する
 - ・担当者の行動からヒューマンエラー発生メカニズムの要因を排除する
 - ・視覚効果を使う
- 現場での定着
 - ・定着とは(わかる・動ける・守れる)
 - ・間違った3大対策
 - ・職場で事例を共有、全員で対策を検討
 - ・現場パトロールと無事故シール
- 総合演習
 - ・職場のヒューマンエラー対策と定着策を立案し、実効策を策定する
- まとめ

安全管理



ヒューマンエラー対策実践
(ポカミスのない職場作り)

成田

コース番号	日 程	場 所	定 員	受 講 料
N18	10月9日(木)、10日(金)	成田キャンパス	20名	8,500円(税込)
日 数	2日間(12時間)			
時 間	9:00~16:00(6時間/日)			
使用機器	ホワイトボード、模造紙、マーカー、付箋紙			
持参品他	筆記用具			

講習内容

ヒューマンエラー発生メカニズムを理解し、エラーを発生させない仕組み作りと、エラー発生防止策の実践力を習得します。また、職場に展開し定着させる有効な手法を習得します。

主な内容

- ヒューマンエラーとは
 - ・ヒューマンエラー概要
 - ・ヒューマンエラー発生メカニズム
 - ・行動科学と心理的要因
- ヒューマンエラー防止策
 - ・予防安全と発生時対処
 - ・設備や作業要素からヒューマンエラーの要因を排除する
 - ・担当者の行動からヒューマンエラー発生メカニズムの要因を排除する
 - ・視覚効果を使う
- 現場での定着
 - ・定着とは(わかる・動ける・守れる)
 - ・間違った3大対策
 - ・職場で事例を共有、全員で対策を検討
 - ・現場パトロールと無事故シール
- 総合演習
 - ・職場のヒューマンエラー対策と定着策を立案し、実効策を策定する
- まとめ

能力開発セミナー受講申込みのご案内

1. 受講申込みの流れ

- ①受講希望コースの選択
- ②受講コースの申込みは、「セミナー受講申込書」(P45)をコピーしていただくか、当校のホームページ(PC)から申込書(Excel版)をダウンロードしてご利用ください。

※ホームページは、「ポリテクカレッジ千葉」で検索して、次をクリック
ホームページ(PC)の「企業・一般の方(画面右上)」→「能力開発セミナー(レディメイド型)」→
「能力開発セミナー(レディメイド型)のご案内」の「能力開発セミナー お申込み方法」の
こちらをクリック

- ③受講希望コースの実施キャンパス(P44の申込み先)へ電子メール、FAXまたは郵送にてお申込みください。

2. 定員

コースごとに定員があり、受講申込みが定員を超過した場合は、先着順とさせていただきます。

3. 受講通知

受講者の方には、各キャンパスから開講日の3週間前を目途に「受講決定通知書」、「受講料請求書」をお送りします。

なお、各コースとも、最小開講人数以上とさせていただきます。

コース開催予定の3週間前の時点で、申込みが最小開講人数に満たなかった場合は、誠に勝手ながら、当該コースを、中止する場合があります。

中止となった場合は、お申込みの方には電話連絡、電子メール、FAXまたは郵送にて中止の連絡をいたします。

4. 受講料の振込み

開講日の10日前までに、お送りする「受講料請求書」に記載した指定口座へお振込みください。振込み方法(複数コースのまとめ払いなど)については、ご相談ください。

なお、振込み手数料は、お客様のご負担とさせていただきます。

5. 受講当日

各コースの開始時間までにセミナー会場へお集まりください。実施会場の案内は、玄関ロビーに掲示します。

6. 修了証書

講習時間の80%以上を出席された方には、職業能力開発促進法に基づく修了証書を発行します。ただし、講習時間が12時間のコースの場合は、100%の出席が必要です。

7. その他の諸事項

①受講の取消しについて

受講の取消しは、開催日の14日前の同じ曜日（土日祝日に当たる場合は直近前の平日）までに「能力開発セミナー受講取消・変更連絡表」（P47）により、電子メール、FAXまたは郵送にてご連絡ください。それ以降の受講取消し、また連絡がないままでの不受講については、受講料はご負担していただくこととなりますので、ご注意ください。

②受講者の変更について

受講者を変更する場合は、開講日の3日前（土日祝日を除く）までに、「能力開発セミナー受講取消・変更連絡表」（P47）により、電子メール、FAXまたは郵送にてご連絡ください。

※「能力開発セミナー受講取消・変更連絡表」は、当校ホームページからもExcel版のダウンロードができます。

③追加コースのご案内

年度途中に能力開発セミナーのコースを追加する場合は、当校のホームページにてご案内します。

8. 能力開発セミナーを行っている千葉県内のセンターについて

ポリテクカレッジ千葉以外に千葉県内で能力開発セミナーを実施しているセンターは次のとおりです。

- 千葉職業能力開発促進センター（ポリテクセンター千葉）
〒263-0004 千葉市稲毛区六方町274 TEL 043-422-4622
※ホームページは、「ポリテクセンター千葉」で検索
- 高度職業能力開発促進センター（高度ポリテクセンター）
〒261-0014 千葉市美浜区若葉3-1-2 TEL 043-296-2582
※ホームページは、「高度ポリテクセンター」で検索
- 君津訓練センター（ポリテクセンター君津）
〒299-1142 君津市坂田428 TEL 0439-57-6313
※ホームページは、「ポリテクセンター君津」で検索

9. 千葉県が行う「ちば企業人スキルアップセミナー」について

千葉県では、県立高等技術専門校において、働く方々をサポートする講習会「ちば企業人スキルアップセミナー」を実施しています。

企業等に勤めている方で、今の仕事の能力を向上させたい方や技能・知識・資格等を得たい方を対象に行う短期間（2～4日間）の講習会です。

※詳しい内容は、千葉県のホームページから、次のキーワードで検索してください。

Q サイト内検索

ちば企業人スキルアップセミナー

検索 

能力開発セミナー受講申込みのご案内

10. オーダーメイドによる能力開発セミナーについて

業種団体（協同組合、社団法人、協会など）や企業の皆様のご要望に合せたセミナーを実施することができます。

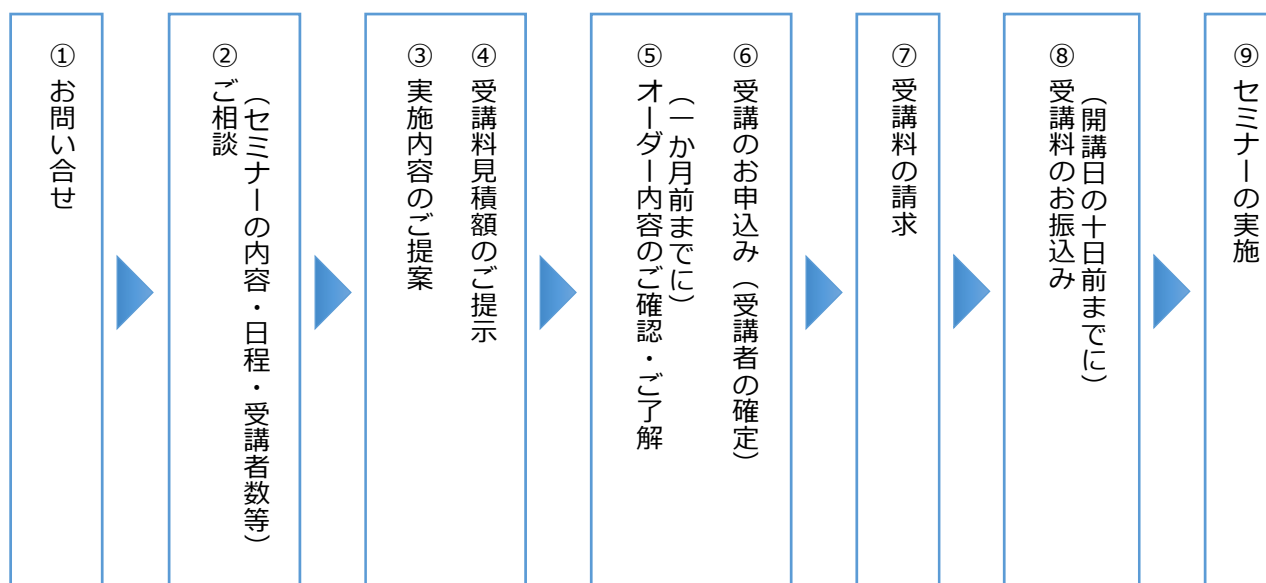
- このセミナーガイドの日程では、都合が悪く受講できない
- わが団体・わが社の実情や目的に合ったセミナーを実施してもらいたい
- わが団体・わが社では、講師や機器、場所がなく、セミナーを行うことができない

このような課題を抱えている皆様をサポートします

※このセミナーは、皆様と相談しながらコース内容や日程などを決めていきます。

- ・受講者数は、原則として5名以上としますが、ご相談ください。
- ・受講料は、受講者数、テキストや材料などにより決まります。

オーダーセミナー実施までの流れ



お申込み・お問合せ先

【千葉キャンパス】

学務援助課 セミナー担当

〒260-0025 千葉市中央区問屋町2-25

TEL : 043-242-4192

FAX : 043-248-5072

【成田キャンパス】

学務援助課 セミナー担当

〒286-0045 成田市並木町221-20

TEL : 0476-22-4351

FAX : 0476-22-4347

能力開発セミナー受講申込書

※受講申し込み施設のチェックボックスに✓点ならびに必要事項をご記入の上、**それぞれのキャンパスに、電子メール、FAXまたは郵送にてお申し込みください。**
 ※受講申込書の受付確認は、**お申込みいただいた方法(電子メール、FAXまたは郵送)等にて確認させていただきます。**お申込み後、3日間(土日・祝日を除く)を過ぎても受付確認の返信がない場合には、お手数ですが、窓口(千葉キャンパス:043-242-4192、成田キャンパス:0476-22-4351)まで必ずご連絡ください。
 ※受講に関する書類は、郵送にて送付いたします。

千葉職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ千葉)

- 千葉キャンパス** メールアドレス: chiba-college03@jeed.go.jp FAX: 043-248-5072
- 成田キャンパス** メールアドレス: narita-college02@jeed.go.jp FAX: 0476-22-4347

千葉職業能力開発短期大学校長 殿

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤務先	フリガナ				法人番号 (個人の方は空白)																
	法人名 (個人の方は氏名)																				
	フリガナ				業種(※1)	(法人番号がない場合、以下の該当に○印) 1. 団体、2. 個人事業主、3. 個人															
	事業所名 (法人名と同様の場合は空白)																				
	所在地 (個人の方は住所)	〒 - (TEL: - -) (FAX: - -)																			
	申込担当者名	部署課名:				氏名:															
	E-mail																				
	企業規模 (該当に○印)	A. 1~29人、 B. 30~99人、 C. 100~299人、 D. 300~499人、 E. 500~999人、 F. 1,000人以上																			
	受講区分 (該当に○印)	1. 会社からの指示による受講(※2)									2. 個人での受講										

※ 受講票、払込取扱票等は、上記申込み担当者様あて(個人の方は申込者様あて)に送付いたします。
 なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

コース番号	コース名	開講初日	フリガナ	生年月日(西暦) 及び性別	就業状況(※3) (該当に○印)	短大 記入欄
			受講者名			
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

通信欄 (受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等(※4)、連絡通信事項を記入してください。)

参考までにお伺いします。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。(該当するものを○で囲んでください。)

- ①ホームページ ②セミナーガイド ③DM(リーフレット) ④商工会議所会報誌(千葉/市川/習志野/市原/佐倉) ⑤その他()

(連絡事項)

- コース開催の3週間前の時点で、受講申し込み者が最小開催人数に満たない場合は、誠に勝手ながら当該コースを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- ※1 業種は、以下の20種のうち該当するものを1つ選んでください。
 A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 FF. 電気・ガス・熱供給・水道業 G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業 J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業 L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業 P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業
- ※2 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
- ※3 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
- ※4 訓練を進める上での参考とさせていただきます。今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講履歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)
 (注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

部内 処理欄	受信①	受信②	返信①	返信②



(中段: 日付、下段: No.)

能力開発セミナー受講申込書

※受講申し込み施設のチェックボックスに✓点ならびに必要事項をご記入の上、それぞれのキャンパスに、電子メール、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
 ※受講申込書の受付確認は、お申込みいただいた方法(電子メール、FAXまたは郵送)等にて確認させていただきます。お申込み後、3日間(土日・祝日を除く)を過ぎても受付確認の返信がない場合には、お手数ですが、窓口(千葉キャンパス:043-242-4192、成田キャンパス:0476-22-4351)まで必ずご連絡ください。
 ※受講に関する書類は、郵送にて送付いたします。

千葉職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ千葉)

 千葉キャンパス

メールアドレス: chiba-college03@jeed.go.jp

FAX: 043-248-5072

 成田キャンパス

メールアドレス: narita-college02@jeed.go.jp

FAX: 0476-22-4347

千葉職業能力開発短期大学校長 殿

次のセミナーについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認の上、申し込みます。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤務先	フリガナ	ノウリョクカイハツ			法人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3												
	法人名 (個人の方は氏名)	能力開発 株式会社			(個人の方は空白)													
	フリガナ	チバコウジヨウ			業種(※1)	E	(法人番号がない場合、以下の該当に○印) 1. 団体、2. 個人事業主、3. 個人											
	事業所名 (法人名と同様の場合は空白)	千葉工場																
	所在地 (個人の方は住所)	〒 260 - 0025 千葉市中央区問屋町2-25 (TEL: 043 - ●●● - ●●●●) (FAX: 043 - ◆◆◆ - ◆◆◆◆)																
	申込担当者名	部署課名:	総務部人事課			氏名:	雇用 太郎											
	E-mail	kovoutaro@▲▲▲▲.com																
	企業規模(該当に○印)	A. 1~29人、B. 30~99人、C. 100~299人、D. 300~499人、E. 500~999人、F. 1,000人以上																
	受講区分(該当に○印)	1. 会社からの指示による受講(※2)						2. 個人での受講										

※ 受講票、払込取扱票等は、上記申込み担当者様あて(個人の方は申込者様あて)に送付いたします。
 なお、別途送付場所を指定される場合は、下記通信欄にご記入ください。

コース番号	コース名	開講初日	フリガナ	生年月日(西暦) 及び性別	就業状況(※3) (該当に○印)	短大 記入欄
			受講者名			
C18	デジタル回路設計技術	10月17日	コヨウ ジロウ 雇用 次郎	1990年 8月 25日 男・女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男・女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日		年 月 日 男・女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

通信欄 (受講案内送付先、訓練に関連する経験・技能等(※4)、連絡通信事項を記入してください。)

参考までにお伺いします。今回のコースをどのようにしてお知りになりましたか。(該当するものを○で囲んでください。)

①ホームページ ②セミナーガイド ③DM(リーフレット) ④商工会議所会報誌(千葉/市川/習志野/市原/佐倉) ⑤その他()

- (連絡事項)
- コース開催の3週間前の時点で、受講申し込み者が最小開催人数に満たない場合は、誠に勝手ながら当該コースを中止する場合があります。あらかじめご了承ください。
 - 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
 - ※1 業種は、以下の20種のうち該当するものを1つ選んでください。
 A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 FF. 電気・ガス・熱供給・水道業 G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業
 J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業 L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業
 P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業
 - ※2 受講区分の「1. 会社からの指示による受講」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。
 - ※3 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。
 - ※4 訓練を進める上での参考とさせていただきます。今回受講するコース内容に関連した職場経験、資格、教育訓練受講履歴等をお持ちの方については差し支えない範囲で区分して通信欄にご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)
 (注) 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

部内 処理欄	受信①	受信②	返信①	返信②

(中段: 日付、下段: No.)

方
2025

能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表

※受講申し込み施設のチェックボックスに✓点ならびに必要事項をご記入の上、それぞれのキャンパスに、電子メール、FAXまたは郵送にてご連絡ください。
 ※取消・変更書の受付確認は、お申込みいただいた方法(電子メール、FAXまたは郵送)等にて確認させていただきます。お申込み後、3日間(土日・祝日を除く)を過ぎても受付確認の返信がない場合には、お手数ですが、窓口(千葉キャンパス:043-242-4192、成田キャンパス:0476-22-4351)まで必ずご連絡ください。

千葉職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ千葉)

- 千葉キャンパス メールアドレス: chiba-college03@jeed.go.jp FAX: 043-248-5072
- 成田キャンパス メールアドレス: narita-college02@jeed.go.jp FAX: 0476-22-4347

千葉職業能力開発短期大学校長 殿

次のセミナーについて、受講の取消もしくは変更を、連絡します。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

勤務先	ふりがな			
	事業所名 (個人の方は氏名)			
	所在地 (個人の方は住所)	(TEL: - -) (FAX: - -)		
	申込担当者名	部署課名	氏名	
	E-mail			

下記のとおり、能力開発セミナーの 取消 ・ 変更 を連絡いたします。

コース番号	コース名	開講初日	変更前		変更後		備考
			ふりがな 受講者名	ふりがな 受講者名	生年月日(西暦) 及び性別	就業状況(※) (該当に○印)	
		月 日			年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日			年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	
		月 日			年 月 日 男 ・ 女	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)	

〈連絡事項〉

1. 受講の取消は、セミナー開講日の14日前の同曜日(土日・休日に当たる場合は、その前日の平日)までに、また受講者の変更は開講日の3日前(土日祝日を除く)までに、この用紙にてご連絡ください。
2. 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
3. ※ 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

部内 処理欄	受領①	受領②	返信①	返信②

(中段:日付、下段:No.)

能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表

※受講申し込み施設のチェックボックスに✓点ならびに必要事項をご記入の上、それぞれのキャンパスに、電子メール、FAXまたは郵送にてご連絡ください。
※取消・変更書の受付確認は、お申込みいただいた方法(電子メール、FAXまたは郵送)等にて確認させていただきます。お申込み後、3日間(土日・祝日を除く)を過ぎても受付確認の返信がない場合には、お手数ですが、窓口(千葉キャンパス:043-242-4192、成田キャンパス:0476-22-4351)まで必ずご連絡ください。

千葉職業能力開発短期大学校(ポリテクカレッジ千葉)

- 千葉キャンパス メールアドレス: chiba-college03@jeed.go.jp FAX: 043-248-5072
成田キャンパス メールアドレス: narita-college02@jeed.go.jp FAX: 0476-22-4347

千葉職業能力開発短期大学校長 殿

次のセミナーについて、受講の取消もしくは変更を、連絡します。

※ 太枠内をご記入ください。(個人でお申し込みの方はご自身の郵便番号、ご住所、電話番号等を下記にご記入ください。)

Form with fields for name, address, department, and email. Includes handwritten entries like '能力開発 株式会社' and '雇用 太郎'.

下記のとおり、能力開発セミナーの [取消 ・ 変更] を連絡いたします。

Table with columns for course number, name, start date, and status before/after change. Includes handwritten entries for course C18 and employee names.

〈連絡事項〉

- 1. 受講の取消は、セミナー開講日の14日前の同曜日(土日・休日に当たる場合は、その前日の平日)までに、また受講者の変更は開講日の3日前(土日祝日を除く)までに、この用紙にてご連絡ください。
2. 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
3. ※ 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

Small table for internal processing with columns for receipt numbers and dates.

(中段:日付、下段:No.)

Q1. 受講申込みはどのようにしたらよいですか？

A. 「受講申込書」(P45)に必要な事項をご記入の上、電子メール、FAXまたは郵送にてお申込みください。

Q2. 申し込む場合の条件はありますか？

A. 各コースに関する基礎知識を有する方としております。ただし、コースによってはより詳細な受講条件を設定している場合がありますので、本ガイドまたは当校のホームページでご確認ください。

Q3. 申し込んだ後で受講者を変更することはできますか？

A. 受講者の変更は、コース開講日の3日前(土日祝日を除く)まで対応できます。
コース開講日の3日前(土日祝日を除く)までに「能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表」(P47)を電子メール、FAXまたは郵送にてお送りください。
なお、「能力開発セミナー受講取消・変更連絡表」(P47)は、当校ホームページからもExcel版のダウンロードができます。

Q4. 申し込んだコースが中止・変更になることはありますか？

A. コース開催予定の3週間前の時点で、受講申込みが最小開講人数に達していない場合は、誠に勝手ながら中止させていただく場合があります。
中止となった場合は、お申込みの方には電話連絡、電子メール、FAXまたは郵送にて中止の連絡をいたします。

Q5. 申し込んだコースをキャンセルしたいのですがどうしたらよいですか？

A. 受講の取消しは、開催日の14日前の同じ曜日(土日祝日に当たる場合は直近前の平日)までに「能力開発セミナー受講 取消・変更 連絡表」(P47)により、電子メール、FAXまたは郵送にてご連絡ください。それ以降の受講取消し、また連絡がないままでの不受講については、受講料はご負担していただくこととなりますので、ご注意ください。

Q6. 受講料の支払い方法は？

A. 開講日の10日前までに、お送りする「受講料請求書」に記載した指定口座へお振込みください。
なお、振込み手数料は、お客様のご負担とさせていただきます。

Q7. 受講する際の服装は？

A. 服装について、特に決まりはありませんが、動きやすい服装及び靴がベターです。各コースの「持参品他」欄に、作業服等の指定がある場合は持参してください。

Q8. セミナーの修了証書の交付条件はありますか？

A. 修了証書は、出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上を満たしている場合に交付します。
なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

※12時間のセミナーはすべて出席しないと修了証書の交付はできません

Q9. 駐車場はありますか？

A. 当校には駐車場がありご利用いただけますが、駐車スペースを確保するものではありません。ご利用できない場合もありますのでご了承ください。また、駐車場での事故等については、当校では責任を負いかねますのでご了承ください。

Q10. セミナー会場で写真・動画の撮影や、録音をしてもよいですか？

A. 受講中の写真・動画の撮影、録音等は原則お断りしておりますので、ご了承ください。

1. 中西産業株式会社(鎌ヶ谷工場) 様

コース名	① 5Sによるムダ取り・改善の進め方
	② 製造業における実践的生産管理
	③ 仕事と人を動かす現場監督者の育成

【受講者のコメント】

- 今までとは異なる視点を持つことで実利を追求できると考えました。外部の情報によって違った見方ができるようになったと感じました。
- これまで一般的な生産管理の知識を学ぶことはありましたが、自社の現状に当てはめるなど自分のこととして改善すべきことに気付きました。今後は、会社の数字(B/Sやキャッシュフロー計算書)を深く知ることによって業務改善に結び付けていきたい。
- ただ生産するのではなく、日々改善を考えながら仕事することが大事だと認識できました。



【事業主のコメント】

鎌ヶ谷工場が取り組んでいる、『開発から製造・出荷までの一環した開発・生産体制』を充実させる上で必要となる実践的な知識・技能・技術を身に着けさせることを目的に受講させました。今回のセミナーにより、製品の品質向上、従業員の問題解決能力の向上、上司の部下に対する指導力の向上、生産管理システムの改善につなげることができました。

また、ポリテクセンター千葉が実施している生産性向上訓練も並行して受講させることで、従業員の能力開発が進んだと感じました。



2. 京葉ガス株式会社 様

コース名	① 現場のための電気保全技術
	② 一般用電気工作物の施工技術
	③ 自家用電気工作物の施工技術

【受講者のコメント】

- 漏電が発生した時の電気の流れ方についての知識が身に付きました。差込みコネクタの施工不良による火災が多いと知り、簡単に使用できるものだからこそ専門の知識の必要性を感じました。
- 法令関係など、今まで曖昧な部分について、とても参考になりました。
- EVコンセントの増設工事やブレーカー回りの知識が学べ、参考になりました。また、幹線に触ることや分電盤の取付けを行い、良い経験になりました。

【事業主のコメント】

現在、京葉ガスはこれまでのガス・電気を中心としたエネルギー事業を基盤に、今後はお客さまの生活全般にわたりサービスを提供していく「総合生活産業事業者」へ進化することを目指しております。その取り組みの一環として、京葉ガスサービスショップが受注する電気工事を外注から内製化することを推進しております。安全で高品質の電気工事を行うためには、現場作業員の高い技術力および関係法令の深い理解が求められております。

貴校のオーダーメイドによる能力開発セミナーを活用し、電気工事に関わる法令、設計から施工まで一連の電気工事を学ぶことができ、現場作業員のスキル向上と知識の深化に繋がりました。

今後より一層、電気工事のスキル向上を図り、さらなる施工範囲の拡大を目指してまいります。



つぎの「うれしい!」へ。
KeiYO GAS

3. 一般社団法人千葉県環境保全センター 様

コース名	① 電気工事の施工技術
	② 一般用電気工作物の施工技術
	③ 低圧電気設備の機器選定技術
	④ 低圧電気設備の保守点検技術
	⑤ 有接点シーケンス制御の実践技術

【受講者のコメント】

- 仕事中に制御盤を見るため、気になっていたシーケンス制御の仕組みが理解できるなど、現場の業務を進めるうえで必要なスキルが身につきました。
- 浄化槽管理や受水槽メンテナンスでポンプおよびブロワー等電気設備を扱うため、役に立ちました。
- 実際に仕事現場で役立つ内容を非常にわかりやすく、質問にも丁寧に対応してもらえました。
 - ・「電気工事の施工技術」 : 浄化槽用ロータリーブロワの管理
 - ・「低圧電気設備の機器選定技術」 : 電気機器のメンテナンス及び修理等
 - ・「有接点シーケンス制御の実践技術」 : 制御盤操作やとブルシューティング
- これまで独学やWebで学んできて間違った解釈をしている部分があったが、今回整理して正しく学ぶことができました。
- 現場先行で仕事をしてきたため、専門知識の勉強方法がわからなかったが、今後、仕事を行う上で必要な技術が向上できる気がしました。

【事業主のコメント】

(一社)千葉県環境保全センターは、会員企業に向けて、浄化槽管理士や浄化槽清掃技術者の資質向上を目的として、廃棄物の処理、浄化槽の保守点検及び浄化槽の清掃等に関する「講習会・研修会の開催事業」を展開しています。ポリテクカレッジ千葉が実施する能力開発セミナーは、私どもが展開している「講習会・研修会の開催事業」の一環として継続的に活用しています。

- 現場におけるトラブル対応や自社での簡単な工事の受注、離れた場所からでも現場に知識を伝達できるようになる。
- 知識が身につくことにより、電機を触ることが怖くなくなり、自信を持って積極的に修理や取り付けができるようになった。
- 制御回路におけるトラブルシューティング、二次被害防止に対応できるようになった。

